

Kansai University  
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2020

第25号



Kansai University  
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2020

第25号





企画展「わたしたちは世界を変えられる」



講演会「国連資料の基礎知識と持続可能な開発目標 (SDGs)」



企画展「『すいたクールアースウィーク』  
コラボレーションブース」



教員推薦図書の実店舗での紹介  
「KU Library thinks SDGs in KINOKUNIYA」



パネル展「パートナーシップでつくる私たちの世界」



図書館総合展「関西大学図書館SDGs展示」

総合図書館 特別展示 / 春学期 企画展



特別展示「万葉集」

総合図書館春学期企画展  
「平成—11,070 days—」関連企画

特別展示  
新元号「令和」ゆかりの資料  
『万葉集』『文選』  
『和漢朗詠集』を中心に

「万葉集」  
開西大学図書館では、令和の興隆となった「万葉集」をはじめ、万葉集の関連のものと「文選」、さらに関係する書籍数多く所蔵しています。普段は見ることができないこれらの書籍を、元号が改まったこの機会に特別展示いたします。あたらしい元号から広がる我が国の豊かな文化をぜひ感じてみてください。

2019年 5月12日(日)～6月30日(日)  
開館時間内  
ただし「広瀬本万葉集」は6月2日(日)まで展示します。

開西大学総合図書館 展示室  
(南開エントランス横)  
※一般の方も見学できます。  
(総合図書館には入館できません)

総合図書館 春学期 企画展  
令和

平成  
11,070 days

5/12 Sun. ~ 8/2 Fri.

総合図書館2階開架カウンター前

新しい時代を生きるみなさんへ  
平成時代の年表を元に、  
学習に役立つことはもちろん、  
興味・関心のきっかけとしてもおすすめの本を集めました

【主催・問い合わせ】 開西大学図書館事務室 内線：4314 メール：ku-library@mk.kandai.jp

企画展「平成—11,070days—」



特別展示「新元号『令和』ゆかりの資料」



総合図書館主催セミナー「新聞データベースで振り返る『平成』」

総合図書館春学期企画展「平成—11,070 days—」関連企画

総合図書館主催セミナー  
新聞データベースで振り返る『平成』

総合図書館では、新聞データベースで振り返る『平成』と題したデータベースの講習会も兼ねたセミナーを行います。図書館で利用できる新聞データベースを実際に検索し、同じ事務でも視点が異なる、各紙の論調の違いを見比べていきます。また、コメントコーナーに元毎日新聞編集局長 深井龍雄氏(本学広報アドバイザー)をお招きし、『平成』を彩った事件、出来事について当時の新聞記事を交えながら裏話をお話いただけます。

この機会に是非、皆さんが過ごしてきた『平成』を振り返り、新たな時代に向け、新聞データベースを活用する術を学んでください。

活用する新聞データベース(予定)  
・ 朝日新聞  
・ ヨミウリ歴史館(読売新聞)  
・ 毎日新聞  
・ 産経新聞データベース(産経新聞)

日時 6月5日(水) 4限 14:40~16:10  
場所 開西大学総合図書館1階ワークショップエリア  
定員 60名(定員となり次第締め切りです)  
募集開始日: 5月7日(火)  
申込み インフォメーションシステム内からお申し込みください。  
「大学サービス」→「申請・アンケート」→「募集」→「総合図書館主催セミナー 新聞データベースで振り返る『平成』」

図書館事務室 宇一ビル5階 TEL: 06-6266-0230 メール: ku-library@mk.kandai.jp

関大生による本の帯プロジェクト「オビプロ」

「新入生に贈る100冊」関連企画

あなたが手掛けた本の帯が日本全国の書店に並ぶ！

## 関大生による本の帯プロジェクト オビプロ

オビプロは、2020年度「新入生に贈る100冊」のラインナップを飾る本学OGブローレンヂ智世さん（文学部 心理学専修・2015年度卒業）の著書『ワンピースで世界を変える！』の本の帯を、後輩である関大生が手掛け、最優秀作品が全国の書店に並ぶというものです。

「通常読むことができない（本になる前の）原稿が読める」、「全国の書店店頭であなたが手掛けた帯を巻いた本が販売される」・・・図書館や本が好きな皆さんは、是非、本プロジェクトにご参加ください！

**『ワンピースで世界を変える！』**

女性起業エッセイ。著者は、男性的な骨格の人でもかわいく着られるよう設計された洋服など、性別にこだわれない自由なファッションのあり方を提案するブランド「ブローレンヂ」のデザイナー。  
<https://blurorange.jp/>

本書では、長崎から大阪に出てきて、波乱万丈の社会人生活を体験したのち結婚、主婦になったから関西大学で心理学を学び、卒業後ひとり得意色のファッションブランドを立ち上げ、東大空田講堂で初のファッションショーを実現するまでをまとめています。

ブローレンヂ智世さん

インフォメーションシステム内からお申し込み下さい。  
 「大学サービス」→「申請・アンケート」  
 →「募集」→「関大生による本の帯プロジェクト『オビプロ』」  
 募集定員 15名  
 ※希望者が多い場合は抽選となります。

募集期間  
 10月11日(金)～  
 10月31日(木)

問い合わせ 図書館事務室サービス担当 ☎ 06-6368-0290 ✉ ku-library@ml.kandai.jp



一般投票第1位



『ワンピースで世界を変える！』著者ブローレンヂ智世さん



紀伊國屋書店賞



最優秀賞



関西大学学長賞

映画上映会

# 「美女と野獣」

総合図書館では、映画「美女と野獣」(2014年制作、クリストフ・ガンズ監督、レア・セドゥ、ヴァンサン・カッセル出演、フランス・ドイツ合作)の上映会を実施します。事前申込不要ですので、是非、ご参加ください。



電子ブックで原作が読めます!



総合図書館で「美女と野獣」をモチーフとしたミニ展示を実施します!是非、ご来館下さい。

6月17日(月)  
~7月5日(金)

6月24日(月) 12:20 ~ 14:30

総合図書館 ワークショップ・エリア

※飲み物(密閉できる容器に入ったもの)の持ち込み可

図書館事務室 サービス担当  
☎ 06-6368-0290  
✉ ku-library@m.kandai.jp

映画上映会「美女と野獣」



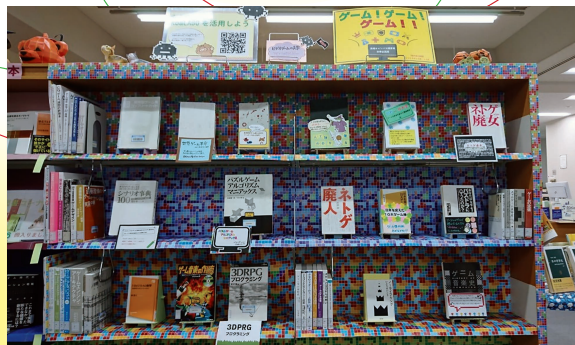
ミニセミナー「劇団四季と文学—文学をミュージカルに—」



世界のノンフィクション展



講演会「世界のノンフィクションがおもしろい!」



高槻キャンパス図書館企画展「ゲーム!ゲーム!ゲーム!」



ミューズ大学図書館企画展「交通安全」



堺キャンパス図書館企画展「からだ×筋肉×健康」

# 図書館フォーラム Library Forum

## 第25号 2020 目次

口絵 図書館サ・エ・ラ (2019 図書館記録写真)  
ポスターコレクション

### 虫ぼし抄

- 後藤総一郎監修『関東庁警務局資料』……………若 月 剛 史 …… 1  
千里山に輝くやこの本 ……………浦 和 男 …… 3

- 〈図書館自己点検・評価について〉……………図書館自己点検・評価委員会 …… 7

### 図書館談話室

- 2019 年度 大学図書館職員短期研修に参加して……………河 崎 早 紀 …… 27  
第 17 回日本古典籍講習会 参加報告……………上 田 夏 実 …… 30

### 図書館活動報告

- 2019 年度図書館活動報告……………33  
関大生による本の帯プロジェクト「オビプロ」の実施について……………新 谷 大 二 郎 …… 38  
図書館出版物案内……………42

### 規程・内規・要領の改正

- 2019 年度に制定及び改正のあった図書館諸規定……………43

- 『関西大学図書館フォーラム』投稿要項……………47

### 編集後記





# 後藤総一郎監修 『関東庁警務局資料』

若月剛史

## 1、はじめに

日本近現代史研究にとって、史料は命である。なかでも、研究対象となっている「その人が」、「そのとき」、「その場で」書いた史料は「一次史料」と呼ばれ、信頼度が高い史料として重視される<sup>1)</sup>。

一次史料の代表的なものとして日記や書翰、公文書などが挙げられるが、これらは文書館や図書館などに所蔵されている。例えば、近現代日本の政治家の日記や書翰は国立国会図書館憲政資料室に、外交文書は外交史料館に所蔵されているというように、である。そのため、これらの一次史料を見たいと思ったら、それを所蔵している文書館や図書館に直接赴かないといけな。私が専門としている日本政治史の分野では、研究で利用する一次史料の多くは首都圏に偏在しており、それ以外の地域に住んでいる者にとってはなかなか利用しにくい状況にある。近年、アジア歴史資料センターに代表されるデジタルアーカイブの充実化によって、インターネットを通じて利用できる日本政治史の一次史料は格段に増えてきている。しかし、そのようにして利用できるようになったものはまだまだ少なく、多くの重要な一次史料はその所蔵機関に足を運ばないと見ることができないのが現状である。

その欠を埋めているのが、マイクロフィルムという資料である。これは、特殊な撮影機材を使って一次史料を縮小してフィルムに焼き写したもので、マイクロフィルムリーダーという専用の投影機を用いれば閲覧・印刷することができる。あまり知られていないが、関西大学図書館は、そのマイクロフィルムについて、充実したコレクションを有している（そのラインナップは、関西大学図書館のホームページの「マイクロ資料一覧」([https://opac.lib.kansaiu.ac.jp/index.php?action=pages\\_view\\_main&block\\_id=52316&page\\_id=17399&active\\_action=announcement\\_view\\_main\\_init#\\_52316](https://opac.lib.kansaiu.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&block_id=52316&page_id=17399&active_action=announcement_view_main_init#_52316))を参照)。このたび、その充実したコレクションに、新たに『関東庁警務局資料』が加わった。本稿では、この資料の概要とそ

の可能性について述べていきたい。

## 2、『関東庁警務局資料』の概要

関東庁とは、1920（大正9）年に設置された、日本の租借地である遼東半島（「関東州」と呼ばれた）の統治や南満洲鉄道株式会社の監督などを所掌する機関である。関東庁には警務局と民政局の2局が置かれていたが、『関東庁警務局資料』は、この警務局において、1928（昭和3）年から1933年までの6年間にわたって作成・利用された史料によって構成されている。戦前の植民地統治機関に関する一次史料は、敗戦時の混乱のなかでその大半が失われているが、本資料は、関東庁警務局に勤務していた高官が持ち帰ったことによって奇跡的に残された。その後、本資料は古書店を経由して、現在は明治大学図書館に所蔵されている。

本資料の白眉は、何といても警務局の日々の動きや収集した情報を記した「関東庁参考書」（全1499点）である。満州事変に関する情報が綴じられている「関東庁情報綴」とあわせて通読すれば、満州事変前後において関東州の統治のあり方がどのように変化していったのか見えてくる。他にも、いわゆる関東州での産業政策がどのように展開されたのか窺い知ることができる「旅順振興策」や、関東軍の将校たちに危機感を与えた中国共産党の思想や展開を記した「赤化運動取締参考資料」、麻薬の一種である「ベンゾイリン」に関する資料など、多岐にわたる一次史料が収録されている。

このようにタイトルを見るだけで否が応でも関心を惹くような史料が、本資料には多く収録されているが、日本近現代史研究の面から見れば、そのような史料はすでに他の研究者によって利用されていることが多い。「先客」がいるのである。そのなかで新しい事実を発見することは必ずしも容易なことではない。そのため、本資料のような幅広い分野にわたる史料群の場合、研究上の戦略として、周辺の史料に目を向けてみるのは1つの手である。そして、

実際に目を通してみれば、興味深い内容を史料が含まれていることがある。ここでは、その一例として、本資料に収録されている「租税制度に関する資料」を見てみたい。

### 3、関東州における租税制度をめぐる議論

「租税制度に関する資料」は、昭和6年に関東長官（関東州のトップ）の諮問機関として設置された租税制度調査委員会に関する一次史料である。この史料は、一見、警察や衛生を掌る警務局とは無関係の史料のようであるが、警務局長が同委員会の委員だったことによって、本資料に含まれる形で残されることになったものである。

租税制度において負担の均衡を図ることが重要なことは言うまでもない。しかし、実際に制度を立案しようとする、どうすれば負担が均衡したことになるのか、立場によって議論が分かれる。ましてや、植民地においては、支配層、被支配層が混在しているので、より議論は複雑なものとなってくる。この点について、関東州ではどのような議論がなされたのか「租税制度に関する資料」から見てみよう。

関東州の租税制度は、財政上の必要に応じて、その都度、新税の導入が行われてきた。そのため、昭和初期には「現行ノ租税ハ始政草創ノ際ニ創設セラレタルモノノ外ハ大正九年及大正十一年に於テ財政ノ必要ニ應ズル為メ新設セラレタルモノデアリマシテ之等ノ間ニ統一セル脈絡ヲ缺キ各人負擔ノ均衡ヲ得ザルモノ不尠」という状況であった（第1回租税制度調査委員会での西山左内租税制度調査委員会委員長の挨拶）。具体的には、①所得税が法人所得に課税される一方で個人所得には課税されない、②地租は田畑に対してのみ課税される、などの問題を抱えていた。

これに対して、租税制度調査委員会では、個人所得税の新設や土地や証券などの収益への課税などの対策が考えられた。現代的な感覚からすれば、これらは当たり前のことで、導入にあたってさほど大きな困難はないように思われる。しかし、当時としては、徴税組織が未発達だったこともあって、個人の所得や、土地や証券などの収益を的確に把握することは決して簡単ではなかった。そのため、負担の均衡はあきらめて、確実に把握できる収益にのみ課税すべきという意見も出されている。

日本人と中国人との間での負担の不均衡について

も租税制度調査委員会で議論されている。前述したように個人の所得に対しては課税されておらず、直接税の中心が地租であった関東州では、「持てる者」である、すなわち課税対象となる財産（主に土地）を多く有している日本人が、それをほとんど持っていない「持たざる者」である中国人よりも多く税を負担していた。

このような状況に対して、租税制度調査委員会では、酒やたばこなどの消費税を引き上げることで、中国人からの租税収入の増加を図り、負担の均衡を図るべきだとの意見が出された。これは、消費税の引き上げは「租税理論上ニハ反スルモ」、つまり逆進性が高くなるものの、「関東州ノ如キ内地人ノ次第二経済上支那人ニ壓迫セラルル土地ニ於テハ国策上モ適當ナル方策」であるとの考えに基づいて主張されたものであった<sup>2)</sup>。

このような委員会での喧々諤々の議論を経て、国税及地方税整理案が作成された。しかし、結局、この整理案は日の目を見ることはなかった。1931年9月に満州事変が勃発し、関東州内外の経済状況が大きく変化することになり、さらなる検討を加える必要があるとされたからである。こうして関東州で租税制度の改正について総合的な検討が行われたことは、その後の時代において忘れられていった。関東庁の「正史」である『関東庁施政三十年史』に、租税制度調査委員会に関する記述が若干見られるだけである<sup>3)</sup>。その失われた記憶を、偶然に偶然が重なって残された「租税制度に関する資料」は呼び起こした。こうした瞬間に立ち会えるのが歴史研究の醍醐味である。『関東庁警務局資料』には、このような記憶の呼び起こしのきっかけとなる一次史料が少なからず含まれているように思われる。ぜひ多くの人に目を通してもらいたい。

#### 注

- 1) 国立国会図書館ホームページ（「史料にみる日本の近代」、<https://www.ndl.go.jp/modern/>）
- 2) 「国及地方税整理案ニ対スル法制局佐藤委員ノ意見」（前掲「租税制度に関する資料」に所収）。
- 3) 関東局編『関東庁施政三十年史』（関東局、1936年）。なお、本書は『関東庁警務局資料』にも所収されている。

（わかつき つよし 法学部准教授）

## 千里山に輝くやこの本

浦 和 男

ビブリア古書堂の篠川葉子さんに古本を好きな理由を問えば、「人の手から手へ渡った本そのものに、物語があると思うんです……中に書かれている物語だけではなくて。」と答えてくれる。三上延のベストセラー『ビブリア古書堂の事件手帳』（メディアワークス文庫）の一節だ。図書館は古書店ではないが、葉子さんの思いは図書館の蔵書にもあてはまる。図書館は本を管理して、貸し出しをするだけが使命ではない。蔵書一点一点に、著者の、出版社の、旧所蔵者の、そして、その時代の物語が詰まっている。その物語を管理する使命も、図書館には課せられている。そして、その物語に価値を与え、著者の、出版社の、旧所蔵者の思いを現代に呼び起こし、輝きを与えるのは、研究者の、とくに私たち文化的研究に取り組んでいる者たちの仕事である。

私の恩師のひとり言語学者の千野栄一先生は、資料の発する匂い、呼びかけを感じなければいけないとおっしゃっていた。修行を積んだおかげか、図書館書庫に入ると凄まじきパワーを感じ、息苦しくなることもある。私にとって図書館書庫はパワースポットだ。人間関係のストレスで疲れていても、図書館蔵書の発するパワーにどれだけ癒やされたことか。

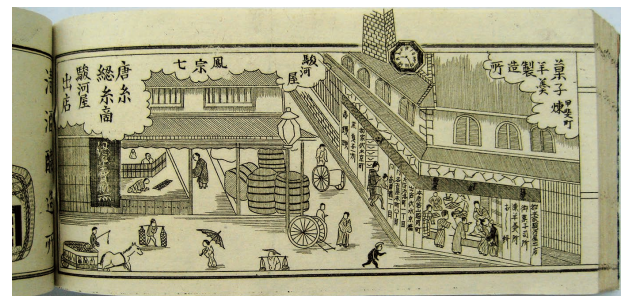
それはさておき  
閑話休題。スペースも狭いので、今回は「なにわ大阪」をキーワードに「虫干し」をしよう。本学図書館には、「大阪文芸資料」と「鬼洞文庫」という大阪関連の貴重なコレクションがある。それぞれの特徴は、図書館HPの解説をご覧くださいことにする。

「鬼洞文庫」の目玉のひとつに「一枚摺」、チラシや番付などの一枚の紙ものがある。その内容は図書館HPの「鬼洞文庫一枚摺データベース」で検索可能で、検索結果には写真が添えられる。その中に「堺名所煎餅」（L.22-674-217）という一枚摺がある。「堺市甲斐町四拾六番屋敷」の「駿河屋号 鳳宗七謹製」と印刷された、おそらく包装紙であろう。当時販売されていたであろう「堺名所煎餅」11枚の図柄が描かれている。実は、この店は与謝野晶子の実家なのだ。晶子の実家は、『住吉堺名所并二豪商案内

記』（明治16年）（N8-503.5-501）に描かれ、堺市の利晶の杜に再現されている（この「案内記」の作者は川崎源太郎、おもちゃ絵で著名な川崎巨泉の実兄だ）。この一枚摺の時代は、と眺めると、ヒントが図柄にある。「水族館の春」の「水族館」は、明治36年の第5回内国勸業博覧会（今で言えば国内の万博）の際に大浜に建設されたので、それ以降のものとなる。博覧会に際して「堺名所煎餅」を売り出しのかもしれない。晶子は2年前の明治34年に、与謝野鉄幹を追いかけて上京している。この「鳳宗七」は誰だろう。晶子の父宗七は二代目で、彼女は明治11年生まれだ。父は明治36年には50代。三代目の宗七は晶子の弟、この頃は20代で修業中であつたらうから、この宗七は晶子の父のはずだ。



堺名所煎餅



『住吉堺名所并二豪商案内記』の「駿河屋」

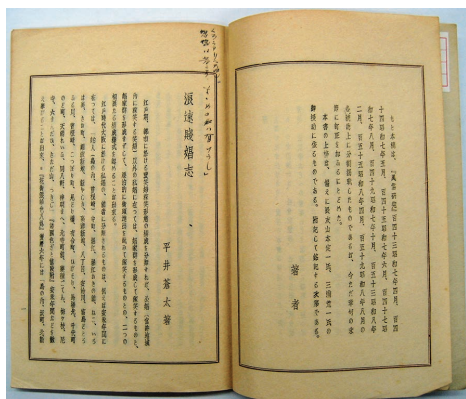
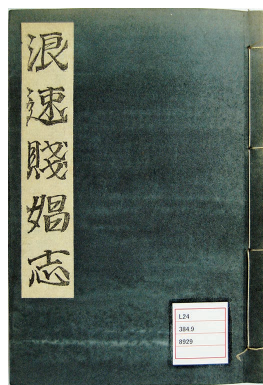


正ロマンの時代に、作家を目指した若者たちの思いが今に伝わる回覧雑誌が、本学図書館で異彩を放つ。今回ご縁があり、同人の一人長沖一の次男渉氏から、新たに創刊号と二号を寄贈していただいたことを記しておきたい。

大阪関連の資料は、図書館長も勤められた、近世文学の泰斗中村幸彦先生旧蔵の「中村文庫」にも多数所蔵される。ここでは、かなりマイナーな平井蒼太の昭和8年発行『浪速賤娼志』(L24-384.9-8929)を紹介する。十三の「朗楓書店」から出版された、100部限定の私家本だ。同じ本は「大阪文芸資料」にもある(L02-H40-1)。平井蒼太、本名は平井通、そして実兄が江戸川乱歩。二人の父平井繁男は、なんと関西法律学校の第1期生。富岡多恵子による平井の評伝『壺中庵異聞』(集英社文庫。「大阪文芸資料」には富岡の署名入り私家版50部中4番(L02-T88-19)がある)によれば、蒼太の昭和31年の履歴書には「関西大学専門部経済科修業」と書かれているそうだが、富岡は修業年を書いていない。本学校友会名簿には、平井通の名前は見当たらない。蒼太は、戦前は風俗、とくに女性娼婦の風俗など、貴重な記録を残している。これを貴重な資料とみるのか、マニアックな猥褻本とみるのか、きちんと検証する必要

がある。この『浪速賤娼志』も、大阪の売春風俗の歴史を紐解く資料である。その内容はともかく、一冊一冊の和綴本で、とくに「宋朝体」という独自の活字を使っており、本作りのこだわりを感じたい。蒼太は『麻尼亞』(まにあ)という16ページほどの雑誌を昭和7~8年に6号発行した。これもまた私費を投じての趣味雑誌で、ここでは娼婦たちの呪いや迷信をフィールドワークをして集めた記録を紹介している。この「麻尼亞」は、4号と5号が所蔵されている(M380.5-M11)。

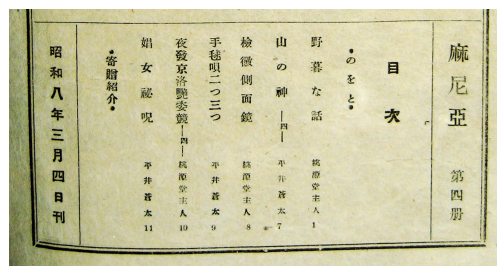
蒼太は関大卒業後(それが事実であるなら、福島学舎で学んだはず)、大阪市電気局の「電気部試験係」に勤務した。大正半ば頃から父、乱歩夫婦たちと守口に暮らしていた記録がある(この頃乱歩が執筆したのが「D坂の殺人事件」)。昭和7年頃に脊椎カリエスを患い、滋賀の方で養生してから上京した。発行者住所が滋賀になっている。さて、関大校友か？



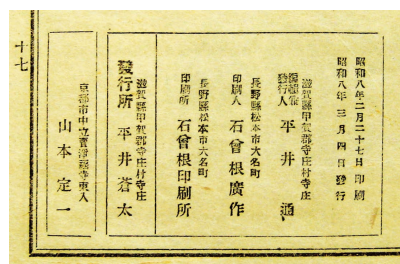
『浪速賤娼志』



『麻尼亞』4冊・5冊表紙



『麻尼亞』4冊目次



『麻尼亞』4冊奥付

一般書庫にも興味深い本が多い。驪城卓爾の『箕山遺稿』（914.6-ko584-1）も私家本の珍しい本だ。驪城は「カルピスは初恋の味」を考え出した人物で、ようやく最近名前が知られてきた。この遺稿集にも、「カルピスの一杯が…青年者には『初恋の味』と歌はれ…」などの詩が載る。箕面の驪城山安養寺の長男、詳しい履歴は不詳、明治17年生まれのように、西本願寺派の高輪学院で学び、福井の仏教中学、六甲山の二楽荘中学などで教えた。六甲山時代に当時今宮中学（現府立今宮高校）の教員折口信夫と知り合い、折口が上京し退職する後任として、大正3年か4年に着任した。その2年後に今宮中学に入学したのが、藤澤桓夫、上道直夫、武田麟太郎、本学部文学部英文科で教えた小野勇たちであり、さらにその翌年林

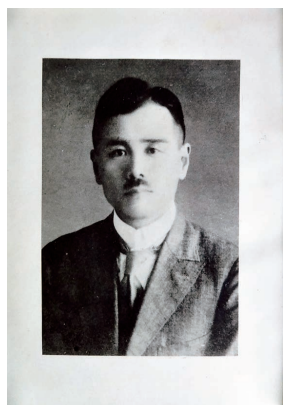
廣次（後の秋田實）が入学する。のちに藤澤は驪城先生について随想している。この『箕山遺稿』には、驪城の短編作品、詩、和歌が収められ、彼はれっきとした「文士」であったことがわかる。藤澤たちが強い影響を受けたのは明らかで、まず、大阪高校で『花冠』という文芸雑誌が生まれることになる。藤澤と小野は早くから作品を文芸誌に投稿し、文学に目覚めていたが、その夢が大きく膨らむのは、30代前半の熱血教師驪城卓爾先生との出会いによる。藤澤桓夫は折口に教わることはなかった。しかし、折口去りし後、驪城先生が折口の文芸的雰囲気を与えたことは想像に難くない。ついでだが、折口は天王寺中学で藤澤黄坡先生に教わったようだ。

1月に急逝した坪内祐三は「古書展に行くということは、未来への視線を鍛えることだ。」と言う。私たちは「図書館に行くということは、未来への視線を鍛えることだ。」と言うべきだ。本にこめられた過去の「物語」を読み解き、現代に再びその光を解き放すことは、過去を知るだけではなく、そこから学ぶことを現在に活かし、未来へつなげる視線を見いだすことにもなる。その点で図書館とはSDGsの実践の場であり、学を実際に活用する「学の実化」に備える場でもある。本を借りる場所だけではない、本来の図書館の意義を今改めて考え直したい。

（うら かずお 人間健康学部准教授）



『箕山遺稿』中表紙



驪城卓爾

# 図書館自己点検・評価について

2019年度

□ 目 次 □

自己点検・評価関係資料

- 1 基礎データ（2019年度）…………… (1)
- 2 2019年度図書館自己点検・評価委員会名簿…………… (18)
- 3 図書館自己点検・評価委員会規程…………… (19)



# 自己点検・評価関係資料

## 1 基礎データ（2019年度）

<p>(1) 入館者に関する統計</p> <p>a 過去5年間の館別・月別開館日数</p> <p>b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数</p> <p>c 館別・月別・資格別入館者数および1日当たり平均入館回数</p> <p>d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）</p> <p>e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館）</p> <p>(2) 図書資料の利用に関する統計</p> <p>a 館別・月別図書利用者数および利用冊数</p> <p>b 月別入庫検索者数（総合図書館）</p> <p>c-1 グループ閲覧室の利用状況（総合図書館）</p> <p>c-2 グループ閲覧室の利用目的（総合図書館）</p> <p>c-3 ラーニング・コモンズの利用状況（総合図書館）</p> <p>c-4 ラーニング・コモンズの利用目的（総合図書館）</p> <p>d-1 Webによるサービスの利用状況</p> <p>d-2 Web機能の使用状況</p> <p>e 文献複写サービス</p> <p>f 図書館間相互利用件数</p> <p>g 参考業務（総合図書館）</p> <p>h 利用指導</p> <p>i 学内で閲覧利用できるオンラインジャーナル</p> <p>j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数</p> <p>k リポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数</p> <p>l 閲覧・ダウンロード件数</p> <p>m キャンパス間相互利用件数（予約取寄せ）</p> <p>n 利用者用パソコン設置台数</p> <p>(3) 蔵書に関する統計</p> <p>① 収書状況</p> <p>a 図書資料の所蔵数（2019年度末現在）</p> <p>b 過去5年間の図書の受入数</p> <p>c 図書資料異動状況</p> <p>d 雑誌・新聞受入種類数</p> <p>② 分類別所蔵図書冊数（日本十進分類法による）</p> <p>③ 分類別所蔵雑誌種類数（日本十進分類法による）</p> <p>④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合</p> <p>a 分類別冊数</p> <p>b 分類別冊数の全体に占める割合</p> <p>⑤ 図書館資料費執行額5年間の推移</p> <p>⑥ 電子資料に係る経費の推移</p> <p>(4) その他関連統計等</p> <p>① 過去5年間の図書館職員</p> <p>② 学生の閲覧座席数（2020年4月1日現在）</p> <p>③ 10年間の展示会テーマと会期</p> <p>④ 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）</p>
---

(1) 入館者に関する統計

a 過去5年間の館別・月別開館日数

館	月	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合図書館		2015年度	30 (4)	31 (8)	30 (4)	31 (5)	17 (0)	27 (3)	31 (4)	26 (4)	25 (5)	24 (5)	23 (0)	23 (0)	318 (42)
		2016年度	30 (4)	31 (8)	29 (3)	31 (5)	16 (0)	25 (2)	31 (5)	26 (5)	24 (4)	24 (5)	16 (0)	21 (0)	304 (41)
		2017年度	30 (4)	31 (7)	30 (4)	31 (5)	17 (0)	26 (1)	31 (6)	26 (4)	25 (5)	26 (5)	16 (0)	22 (0)	311 (41)
		2018年度	30 (5)	31 (7)	28 (4)	29 (5)	19 (0)	24 (1)	31 (5)	26 (4)	25 (4)	25 (4)	16 (0)	20 (0)	304 (39)
		2019年度	30 (6)	31 (8)	29 (4)	31 (4)	19 (0)	26 (2)	30 (6)	26 (3)	24 (4)	26 (4)	16 (0)	18 (0)	306 (41)

高槻 キャンパス 図書館	2015年度	25	23	26	27	13	20	27	22	21	20	23	23	270
	2016年度	26	23	26	26	16	20	26	22	20	20	22	22	269
	2017年度	25	24	26	26	15	22	25	23	20	20	22	22	270
	2018年度	24	24	23	24	17	20	26	24	21	21	22	21	267
	2019年度	24	23	25	27	15	22	24	25	20	22	21	20	268
ミュージズ 大学図書館	2015年度	25	23	26	27	13	20	27	22	21	20	23	23	270
	2016年度	26	23	26	26	10	16	26	22	20	20	22	22	259
	2017年度	25	24	26	26	15	22	25	23	20	20	22	22	270
	2018年度	24	24	23	24	17	20	26	24	21	21	22	21	267
	2019年度	24	23	25	27	15	22	24	25	20	22	21	20	268
堺キャンパス 図書館	2015年度	25	23	26	27	13	20	27	22	21	20	23	23	270
	2016年度	26	23	26	26	16	20	26	22	20	20	22	22	269
	2017年度	25	24	26	26	15	22	25	23	20	20	22	22	270
	2018年度	24	24	24	24	17	20	26	24	21	21	22	21	268
	2019年度	24	23	25	27	15	22	24	25	20	22	21	20	268

注1 総合図書館の下段( )は内数で、授業期間中の日曜・祝日開館日数を示す。高槻・ミュージズ・堺の各図書館は日曜・祝日は休館。

注2 夏季一斉休業期間中の休館 8月11日～8月20日

注3 学園祭による臨時休館 11月1日～4日

注4 冬季一斉休業期間中の休館 12月25日～1月5日

注5 入学試験等による休館 2月1日～2月8日、3月3日～3月4日

注6 年度末休館 3月28日～3月31日

#### b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数

所属		館	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミュージズ大学図書館	堺キャンパス図書館
学部 学生	法学部	入館者数	107,142	12	252	101
		平均入館回数	33.7	0.0	0.1	0.0
	文学部	入館者数	99,071	3	61	131
		平均入館回数	29.7	0.0	0.0	0.0
	経済学部	入館者数	93,020	3	88	159
		平均入館回数	28.5	0.0	0.0	0.0
	商学部	入館者数	67,321	4	84	61
		平均入館回数	21.3	0.0	0.0	0.0
	社会学部	入館者数	61,835	3	101	136
		平均入館回数	18.0	0.0	0.0	0.0
	政策創造学部	入館者数	41,600	0	82	16
		平均入館回数	26.0	0.0	0.1	0.0
	外国語学部	入館者数	13,252	0	7	17
		平均入館回数	18.8	0.0	0.0	0.0
	人間健康学部	入館者数	2,974	2	2	25,302
		平均入館回数	2.1	0.0	0.0	17.9
	総合情報学部	入館者数	1,277	23,523	934	14
		平均入館回数	0.6	10.8	0.4	0.0
	社会安全学部	入館者数	1,327	27	15,716	2
		平均入館回数	1.1	0.0	12.9	0.0
システム理工学部	入館者数	45,131	7	32	7	
	平均入館回数	20.1	0.0	0.0	0.0	
環境都市工学部	入館者数	26,307	0	11	5	
	平均入館回数	18.9	0.0	0.0	0.0	
化学生命工学部	入館者数	37,025	1	37	47	
	平均入館回数	24.6	0.0	0.0	0.0	
学部合計		入館者数	597,282	23,585	17,407	25,998
		平均入館回数	20.8	0.8	0.6	0.9
大学院学生		入館者数	30,831	921	470	319
		平均入館回数	18.3	0.5	0.3	0.2
専任教職員	大学教員	入館者数	5,846	314	333	203
		平均入館回数	7.9	0.4	0.5	0.3
	高中小幼教諭	入館者数	38	0	85	0
		平均入館回数	0.2	0.0	0.4	0.0
	事務職員	入館者数	1,471	202	72	50
		平均入館回数	3.1	0.4	0.1	0.1

上記を除く教職員	入館者数	9,904	250	557	205
校 友	入館者数	11,134	8	4,128	349
そ の 他	入館者数	21,474	945	5,225	463
合 計	入館者数	677,980	26,225	28,277	27,587

注1 平均入館回数は、入館者数を利用対象者数（2019年5月1日現在）で除した1人当たりの数値である。

注2 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

c 館別・月別・資格別入館者数および1日当たり平均入館回数

月	総 合 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	55,565	3,672	2,005	908	1,956	64,106	2,596.5	298.2
5	67,314	3,516	1,750	1,218	2,216	76,014	3,180.6	357.6
6	66,062	3,221	1,728	1,120	2,198	74,329	2,919.8	333.5
7	124,105	3,829	1,803	1,300	2,432	133,469	4,745.7	1,333.8
8	10,800	1,210	739	658	978	14,385	757.1	—
9	20,370	2,035	1,265	966	1,681	26,317	1,073.3	279.5
10	53,119	3,358	1,923	1,218	2,534	62,152	2,494.8	379.5
11	54,867	2,875	1,763	959	2,152	62,616	2,673.4	376.0
12	49,302	2,619	1,426	832	1,870	56,049	2,726.6	379.3
1	82,181	2,787	1,429	819	1,771	88,987	3,791.2	1,395.3
2	7,166	844	666	472	749	9,897	618.6	—
3	6,431	865	762	664	937	9,659	536.6	—
合 計	597,282	30,831	17,259	11,134	21,474	677,980	2,474.0	545.9
月	高 槻 キ ャ ン パ ス 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	2,885	101	105	2	28	3,121	130.0	—
5	3,181	89	86	1	246	3,603	156.7	—
6	2,830	77	78	2	330	3,317	132.7	—
7	4,117	104	87	1	82	4,391	162.6	—
8	604	36	17	0	18	675	45.0	—
9	871	67	48	2	32	1,020	46.4	—
10	2,335	86	69	0	44	2,534	105.6	—
11	1,829	88	78	0	36	2,031	81.2	—
12	1,827	92	79	0	36	2,034	101.7	—
1	3,008	109	66	0	37	3,220	146.4	—
2	61	40	24	0	26	151	7.2	—
3	37	32	29	0	30	128	6.4	—
合 計	23,585	921	766	8	945	26,225	97.9	—
月	ミ ュ ー ズ 大 学 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	1,682	43	99	294	612	2,730	113.8	—
5	2,153	51	118	301	617	3,240	140.9	—
6	1,827	38	127	311	541	2,844	113.8	—
7	3,591	66	93	465	531	4,746	175.8	—
8	279	18	57	215	412	981	65.4	—
9	571	32	115	367	313	1,398	63.5	—
10	1,419	45	93	390	427	2,374	98.9	—
11	1,441	35	105	431	419	2,431	97.2	—
12	1,287	37	58	367	330	2,079	104.0	—
1	2,475	37	73	379	371	3,335	151.6	—
2	396	28	73	300	284	1,081	51.5	—
3	286	40	36	308	368	1,038	51.9	—
合 計	17,407	470	1,047	4,128	5,225	28,277	105.5	—

月	堺キャンパス図書館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校友	その他	合計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	2,103	39	54	28	42	2,266	94.4	—
5	2,603	52	46	29	37	2,767	120.3	—
6	2,675	33	44	44	32	2,828	113.1	—
7	5,682	42	88	36	75	5,923	219.4	—
8	334	19	19	20	15	407	27.1	—
9	764	26	26	17	71	904	41.1	—
10	2,506	27	64	46	43	2,686	111.9	—
11	2,406	30	42	34	38	2,550	102.0	—
12	2,356	14	20	17	33	2,440	122.0	—
1	4,086	20	29	39	28	4,202	191.0	—
2	204	5	17	18	21	265	12.6	—
3	279	12	9	21	28	349	15.9	—
合計	25,998	319	458	349	463	27,587	102.2	—

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

d 時期別・時間帯別入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）

区分	時間帯	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	合計	
春学期	授業期間	総入館者	12,060	29,313	18,384	47,125	26,534	45,154	17,636	32,696	16,140	10,904	7,104	3,620	1,201	267,871
		1日平均	143.6	349.0	218.9	561.0	315.9	537.5	210.0	389.2	192.1	129.8	84.6	43.1	14.3	3188.9
	試験期間	総入館者	3,720	6,045	5,601	9,433	7,314	10,367	5,963	7,361	5,225	3,871	3,270	1,837	458	70,465
		1日平均	248.0	403.0	373.4	628.9	487.6	691.1	397.5	490.7	348.3	258.1	218.0	122.5	30.5	4697.7
	休暇期間	総入館者	/	2,859	1,953	2,767	3,282	2,847	2,509	2,571	1,598	817	373	/	/	21,576
		1日平均	/	81.7	55.8	79.1	93.8	81.3	71.7	73.5	45.7	23.3	10.7	/	/	616.5
	小計	総入館者	15,780	38,217	25,938	59,325	37,130	58,368	26,108	42,628	22,963	15,592	10,747	5,457	1,659	359,912
		1日平均	117.8	285.2	193.6	442.7	277.1	435.6	194.8	318.1	171.4	116.4	80.2	40.7	12.4	2685.9

秋学期	授業期間	総入館者	9,088	20,520	13,852	36,732	22,584	35,441	15,386	26,341	14,447	9,211	5,588	2,979	1,201	213,370
		1日平均	113.6	256.5	173.2	459.2	282.3	443.0	192.3	329.3	180.6	115.1	69.9	37.2	15.0	2667.1
	試験期間	総入館者	3,021	4,902	4,881	8,104	7,717	9,301	5,781	6,676	4,715	3,224	2,638	1,471	330	62,761
		1日平均	177.7	288.4	287.1	476.7	453.9	547.1	340.1	392.7	277.4	189.6	155.2	86.5	19.4	3691.8
	休暇期間	総入館者	/	2,078	1,693	2,315	2,764	2,720	2,497	2,625	1,534	976	354	/	/	19,556
		1日平均	/	57.7	47.0	64.3	76.8	75.6	69.4	72.9	42.6	27.1	9.8	/	/	543.2
	小計	総入館者	12,109	27,500	20,426	47,151	33,065	47,462	23,664	35,642	20,696	13,411	8,580	4,450	1,531	295,687
		1日平均	91.0	206.8	153.6	354.5	248.6	356.9	177.9	268.0	155.6	100.8	64.5	33.5	11.5	2223.2

日祝開館	総入館者	/	3,068	2,216	3,048	4,224	3,691	2,978	2,206	950	/	/	/	/	22,381
	1日平均	/	74.8	54.0	74.3	103.0	90.0	72.6	53.8	23.2	/	/	/	/	545.9

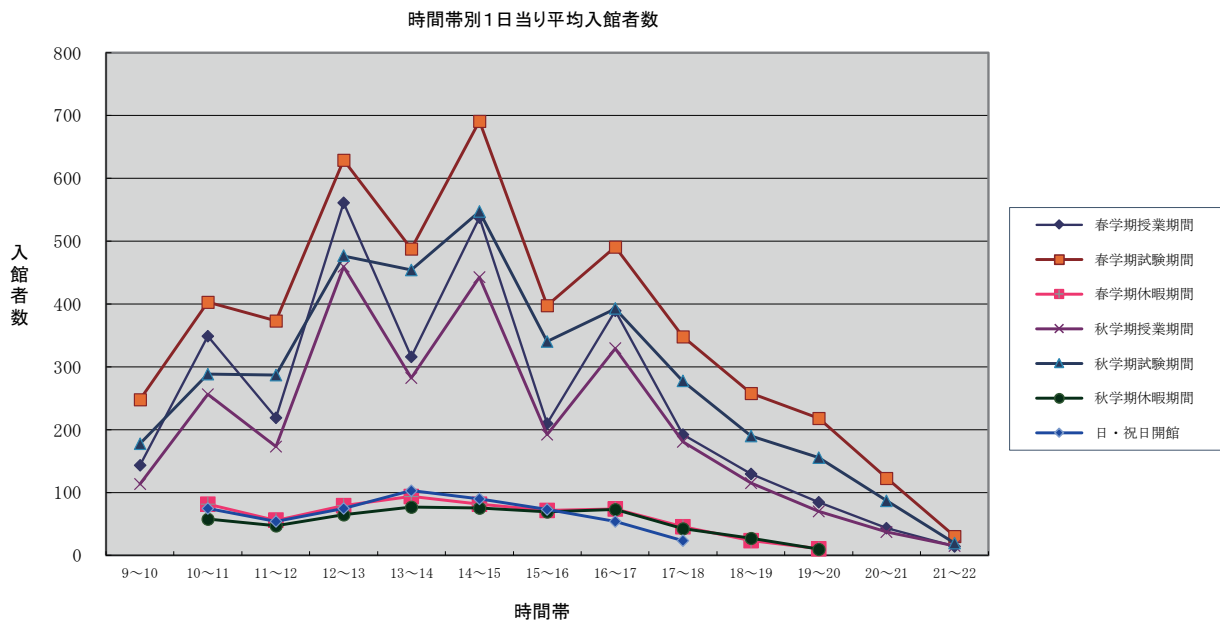
年度合計	総入館者	27,889	68,785	48,580	109,524	74,419	109,521	52,750	80,476	44,609	29,003	19,327	9,907	3,190	677,980
	1日平均	90.5	223.3	157.7	355.6	241.6	355.6	171.3	261.3	144.8	94.2	62.8	32.2	10.4	2201.2

注1 春学期 授業期間：4月5日～7月18日、試験期間：7月19日～8月5日、休暇期間：4月1日～4月4日、8月6日～9月20日  
 秋学期 授業期間：9月21日～12月24日・1月6日～1月10日、試験期間：1月11日～1月31日、休暇期間：12月25日～1月5日・2月1日～3月31日

注2 各期間の入館者数には、日祝開館に係る数値を含まない。

注3 試験期間とは、図書資料の貸出期間を3日間に短縮した日から試験終了日（予備日含む）までを示す。

(5)



e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館）

総合図書館	新規	再登録	合計	対象
2015年度	50	101	151	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2016年度	45	101	146	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2017年度	49	101	150	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2018年度	37	120	157	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2019年度	24	116	140	吹田市・池田市・八尾市の在住者

注1 2019年度の登録者数の内訳は、吹田市138名、池田市2名、八尾市0名

ミューズ大学図書館	新規	再登録	合計	対象
2015年度	18	62	80	高槻市在住者
2016年度	31	56	87	高槻市在住者
2017年度	29	54	83	高槻市在住者
2018年度	23	51	74	高槻市在住者
2019年度	20	64	84	高槻市在住者

堺キャンパス図書館	新規	再登録	合計	対象
2015年度	10	10	20	堺市在住者
2016年度	4	5	9	堺市在住者
2017年度	5	3	8	堺市在住者
2018年度	8	6	14	堺市在住者
2019年度	8	8	16	堺市在住者

## (2) 図書資料の利用に関する統計

## a 館別・月別図書利用者数および利用冊数

利用者区分		月												合 計	
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
総 合	館 内 閲 覧	学部学生	285	415	412	473	86	180	480	478	531	410	29	38	3,817
			383	660	634	777	159	331	804	817	920	683	62	75	6,305
		大学院学生	40	56	63	65	14	42	100	89	60	57	23	22	631
			66	98	127	103	34	68	237	157	108	108	74	46	1,226
		教 職 員	38	34	33	33	19	47	45	27	32	35	29	38	410
			61	46	49	60	40	79	83	41	46	80	45	70	700
	98	165	140	129	83	95	160	132	129	113	81	105	1,430		
	236	406	349	378	206	230	437	333	335	266	252	294	3,722		
	461	670	648	700	202	364	785	726	752	615	162	203	6,288		
	746	1,210	1,159	1,318	439	708	1,561	1,348	1,409	1,137	433	485	11,953		
図 書 館	館 外 貸 出	学部学生	6,373	8,837	9,932	13,499	1,954	3,904	9,564	9,510	9,955	9,977	948	740	85,193
			11,335	15,451	17,344	24,082	4,650	7,647	17,752	17,795	18,906	19,826	2,150	1,630	158,568
		大学院学生	1,636	1,624	1,531	1,736	665	997	1,700	1,467	1,378	1,287	442	457	14,920
			3,460	3,124	2,924	3,464	1,557	2,099	3,519	2,918	2,809	2,895	1,141	1,065	30,975
		教 職 員	1,085	960	976	959	482	792	1,026	948	830	857	404	565	9,884
			2,077	1,773	1,876	1,913	1,085	1,521	2,041	1,774	1,586	1,816	836	1,329	19,627
	885	1,139	1,053	1,126	631	812	1,124	944	833	796	499	561	10,403		
	1,911	2,780	2,307	2,543	1,553	1,932	2,462	2,163	1,912	1,815	1,353	1,355	24,086		
	9,979	12,560	13,492	17,320	3,732	6,505	13,414	12,869	12,996	12,917	2,293	2,323	120,400		
	18,783	23,128	24,451	32,002	8,845	13,199	25,774	24,650	25,213	26,352	5,480	5,379	233,256		
	10,440	13,230	14,140	18,020	3,934	6,869	14,199	13,595	13,748	13,532	2,455	2,526	126,688		
	19,529	24,338	25,610	33,320	9,284	13,907	27,335	25,998	26,622	27,489	5,913	5,864	245,209		
高 槻 キ ャ ン パ ス 図 書 館	館 内 閲 覧 ・ 館 外 貸 出	学部学生	426	537	437	427	65	112	356	244	298	352	30	16	3,300
			776	898	677	730	163	209	579	376	496	629	65	46	5,644
		大学院学生	44	51	43	38	18	32	40	47	41	42	17	11	424
			79	101	74	71	41	95	84	94	82	90	38	34	883
		教 職 員	30	16	16	24	6	14	21	32	21	20	14	8	222
			58	37	31	44	19	28	45	63	53	43	28	15	464
	10	9	17	5	8	13	14	7	10	13	6	6	118		
	13	16	26	6	10	22	22	13	13	14	8	7	170		
	510	613	513	494	97	171	431	330	370	427	67	41	4,064		
	926	1,052	808	851	233	354	730	546	644	776	139	102	7,161		
ミ ュ ー ズ 大 学 図 書 館	館 内 閲 覧 ・ 館 外 貸 出	学部学生	174	247	192	329	58	94	168	184	194	357	60	19	2,076
			280	407	334	561	149	182	269	325	362	701	136	45	3,751
		大学院学生	17	18	13	15	1	8	14	15	13	18	13	10	155
			34	31	17	21	1	15	34	27	40	35	22	24	301
		教 職 員	28	32	23	24	20	36	23	28	17	12	18	14	275
			61	67	38	42	48	85	36	55	28	23	50	29	562
	101	120	113	99	59	77	88	82	81	89	75	68	1,052		
	186	211	232	211	123	151	151	168	170	186	176	121	2,086		
	320	417	341	467	138	215	293	309	305	476	166	111	3,558		
	561	716	621	835	321	433	490	575	600	945	384	219	6,700		
堺 キ ャ ン パ ス 図 書 館	館 内 閲 覧 ・ 館 外 貸 出	学部学生	158	375	365	909	40	95	337	283	330	623	33	15	3,563
			256	571	566	1,646	90	167	604	544	601	1,329	53	23	6,450
		大学院学生	8	20	10	10	3	11	9	3	5	5	4	4	92
			20	40	20	25	6	15	21	5	10	8	6	9	185
		教 職 員	29	37	32	41	15	22	42	31	14	25	10	5	303
			79	79	78	63	46	48	97	72	36	54	28	5	685
	39	31	36	30	29	41	56	54	50	47	27	45	485		
	88	65	52	48	62	97	116	83	85	82	49	81	908		
	234	463	443	990	87	169	444	371	399	700	74	69	4,443		
	443	755	716	1,782	204	327	838	704	732	1,473	136	118	8,228		

注1 館内閲覧・館外貸出ともに上段は利用者数、下段は利用冊数を示す。

注2 総合図書館の館内閲覧は、書庫図書の出納・取り寄せによる館内閲覧手続を行なったものを示す。

## b 月別入庫検索者数(総合図書館)

利用区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合図書館	入庫検索	学部学生	502	697	745	868	217	478	884	876	937	605	93	48	6,950
	大学院学生	593	679	617	742	311	416	626	567	565	508	177	205	6,006	
	教職員	626	578	553	602	304	463	598	569	446	494	248	308	5,789	
	その他	57	57	81	102	49	66	75	50	45	58	39	31	710	
	計	1,778	2,011	1,996	2,314	881	1,423	2,183	2,062	1,993	1,665	557	592	19,455	

注1 入庫検索とは、図書館利用規程第13条による書庫図書の利用をいう。

注2 「その他」とは、特別の事由により入庫を許可された研究員等を示す。

## c-1 グループ閲覧室の利用状況(総合図書館)

区分	月別												合計	月平均 (日・祝日を除く)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
利用コマ数	22	33	34	38	6	12	46	37	25	21	10	0	284	23.6
利用者数	336	478	482	501	87	102	533	469	262	152	103	0	3,505	292.0

注1 授業時間90分をコマ単位としている。

## c-2 グループ閲覧室の利用目的(総合図書館)

申込件数	コマ数	実人数
授業目的	120	2,120
研究会利用	138	1,093
資料の閲覧	13	231
読書会	5	31
その他(落書き消しや撮影)	8	30
計	284	3,505

## c-3 ラーニング・コモンズの利用状況(総合図書館)

## ワーキング・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	238	447	516	748	160	208	559	535	454	397	57	17	4,336
利用者数	1,186	2,073	2,310	3,153	803	790	2,508	2,460	1,964	1,564	222	51	19,084
一日あたりの利用者数	49.4	90.1	92.4	116.8	44.6	32.9	104.5	107	98.2	71.1	13.9	12.8	76.3

## ワークショップ・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	32	44	19	4	2	1	19	11	2	3	0	0	137
利用者数	795	623	389	235	26	14	346	417	92	211	0	0	3,148

## c-4 ラーニング・コモンズの利用目的(総合図書館)

## ワーキングエリア

利用目的	件数
授業関連・グループ学習	2,548
自主学習	1,425
卒業論文卒論・修論準備	309
その他	9
計	4,291

## ワークショップ・エリア

利用目的	件数
授業・ゼミ	25
その他	7

## d-1 webによるサービスの利用状況

サービス種別	件数
蔵書検索	1,746,581 (0)
予約申込	13,153 (914)
相互利用申込	1,379
購入希望申込	1,977

注1 蔵書検索件数および予約申込件数については mobile opac による検索数も含み、内数で( )で示す。

注2 購入希望は Web 以外に書類提出によるものもある。

d-2 web機能の使用状況

web機能	件数
予約資料到着連絡	8,797
複写物到着連絡	848
借用品到着連絡	307
相互利用謝絶連絡	249
購入希望謝絶連絡	108
返却督促連絡(翌日)	24,066
返却督促連絡(2週間後)	4,035

e 文献複写サービス

(単位：枚)

種別	区分	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	小計
		電子式複写	モノクロ	370,590	25,838	4,648
	カラー	2,716	3,459	27	14	6,216
	マイクロ	4,494	0	0	0	4,494
	合計	377,800	29,297	4,675	1,311	413,083

注1 「モノクロ」はモノクロ複写とモノクロプリントアウトの合計枚数。

注2 「カラー」はカラー複写とカラープリントアウトの合計枚数。

f 図書館間相互利用件数

種別	国内								国外							
	提供				依頼				提供				依頼			
	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計
4月	18	46	218	282	6	31	98	135	0	1	0	1	0	0	10	10
5月	24	45	258	327	7	25	144	176	0	1	0	1	3	0	1	4
6月	28	69	271	368	9	43	152	204	0	0	1	1	0	0	1	1
7月	22	79	236	337	13	22	112	147	0	0	0	0	0	0	1	1
8月	23	28	159	210	8	26	124	158	0	0	2	2	0	0	0	0
9月	27	48	197	272	17	26	115	158	0	0	0	0	0	0	5	5
10月	32	55	265	352	22	49	181	252	0	0	0	0	0	0	15	15
11月	30	47	328	405	8	48	113	169	0	1	0	1	0	0	2	2
12月	25	42	181	248	8	30	101	139	0	0	0	0	1	0	0	1
1月	30	38	204	272	6	30	106	142	0	0	0	0	7	0	2	9
2月	21	43	111	175	7	28	71	106	0	0	0	0	0	0	2	2
3月	18	38	126	182	11	43	130	184	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	298	578	2,554	3,430	122	401	1,447	1,970	0	3	3	6	11	0	43	54

注1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。

g 参考業務(総合図書館)

区分	学内利用者				学外利用者			合計
	教職員	大学院学生	学部学生	その他	校 友	諸機関	その他	
調査	所蔵	32	8	4	0	0	1	45
	事項	5	7	11	4	5	0	32
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	37	15	15	4	5	0	77

注1 総合図書館における申込書の提出により処理した件数。

注2 学内利用者中の「その他」には、学内他部署からの業務上の問い合わせのほか、科目等履修生、聴講生、留学生別科を含む。

h 利用指導

種別	区分	総合図書館			高槻キャンパス図書館			ミューズ大学図書館			堺キャンパス図書館		
		件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数
①	入門ガイダンス「蔵書検索を学ぼう」	105	105	1,995	13	13	231	10	10	274	5	5	84
②	活用ガイダンス「文献のさがし方を学ぼう」	106	131	1,746	13	13	487	14	14	311	4	4	38
③	上位年次生のための入庫ガイダンス	392	163	2,071	2	2	34	4	4	48	0	0	0

注1 件数は実施回数、クラス数は参加したクラス数、人数は参加者延べ数である。

注2 ①②はクラス・ゼミ・研究室対象。

注3 ③は各図書館で実施した総合図書館地下書庫ガイダンスで、クラス単位と個人単位の総数。



## i 学内で閲覧利用できるオンラインジャーナル

種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)	種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)
ACS (American Chemical Society)	59	RSC (Royal Society of Chemistry)	47
beck-online (大学パッケージプレミアム版)	229	SAGE Journal (Premier+IMechE)	1,019
CUP (Cambridge University Press)	412	OECD iLibrary Packages	892
Elsevier ScienceDirect	2,259	SpringerLINK e-Journal	1,579
IEL Online (IEEE/IET Electronic Library)	558	Taylor & Francis	2,008
JSTOR (Arts & Sciences I)	115	Wiley Online Library	1,674
OUP (Oxford Journals)	268	日経 BP 記事検索サービス	40
		その他	3,628
		合 計	14,787

注1 2019年まで取り上げていたEmerald Fulltextについては、2019年3月末に契約解除したため、当統計の対象から外した。

## j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数

種 別	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	備 考
1 AFP World Academic Archive *	11	86	258	138	4(1-3月)	2014年4月~2019年3月
2 beck-online: プレミアム版 (ドイツ法情報データベース)	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2007年4月~
3 Bibliography of British and Irish History *	26	14	8	13	2	2011年5月~2020年3月
4 Business Archives Online (企業史料統合データベース)	248	147	133	130	264	2013年4月~
5 Business Source Complete (ビジネス関連データベース)	8,466	7,568	7,046	7,177	4,577	2012年2月~
6 CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)	666,680	598,592	389,476	195,933	190,225	2005年4月~
7 DBpia	2,077	1,333	1,595	1,723	1,388	2014年4月~
8 eBook Collection (EBSCOhost)	14,064	7,642	10,503	8,825	4,866	2011年7月~
9 EconLit with Full Text	6,777	1,495	5,587	5,481	3,331	2012年2月~
10 The Economist Historical Archive 1843-2015	127	88	72	169	164	2012年7月~2020年3月
11 Eighteenth Century Collections Online (ECCO1&2)	326	79	556	114	477	2013年4月~
12 英国王立国際問題研究所 (チャタム・ハウス) オンライン・アーカイブ	48	24	15	88	13	2014年4月~2020年3月
13 Entertainment Industry Magazine Archive	—	—	—	—	—	2013年4月~2020年3月
14 eol (有価証券報告書を含む企業情報データベース)	79,064	38,149	128,417	118,368	128,343	2006年4月~
15 Factiva.com	2,592	3,053	3,744	4,309	7,006	2013年4月~
16 Financial Times Historical Archive 1888-2009	25(1~3月)	—	—	—	—	2012年4月~2015年3月
17 Frantext	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2007年10月~2019年9月
18 Global Trade Atlas *	60	34	23	20	2(1-3月)	2014年4月~2019年3月
19 ゴールドスマス・クレス両文庫所蔵社会科学系学術図書データベース (MOMW I) & MOMW II★	3	9	5	13	6	2013年4月~
20 新・判例解説 Watch *	209	230	242	191	223	2011年7月~
21 Hein Online	567	740	1,226	1,344	1,332	2012年~
22 法律文献総合 INDEX *	260	344	267	233	269	2011年7月~
23 法律判例文献情報 (法関連文献索引) *	2,699	2,721	2,511	2,306	2,381	2006年4月~
24 18th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	0	0	0	0	0	2013年4月~
25 19th & 20th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	6	2	44	31	47	2009年~
26 医中誌 Web	5,609	3,566	6,671	4,223	3,138	2014年4月~
27 ICPSR ★	337	108	225	71	563	2005年4月~
28 The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003	89	93	103	219	156	2013年4月~2020年3月
29 Integrum ★	284	194	122	138	154	2013年4月~2020年3月
30 Music Periodicals Database	—	—	—	—	—	2013年4月~
31 International Medieval Bibliography Online *	20	14	17	13	2	2011年5月~2020年3月
32 ジャパンナレッジ Lib (百科事典データベース)、鎌倉遺文 I	34,114	39,082	43,839	44,541	37,062	2005年4月~
33 The Japan Times Archives	98(4月~)	69	268	561	135	2015年4月~
34 JCIF (国際金融情報センターオンラインサービス)	187	17	10	110	45	2006年4月~2020年3月
35 JDream III (科学技術情報索引)	32,691	20,805	17,492	15,096	13,729	2004年~
36 Journal Citation Reports	903	526	965	657	780	2010年4月~
37 JURIS Online ★ (ドイツ法律情報データベース)	2,924	2,028	1,572	1,368	1,527	2004年10月~
38 化学書資料館 (国内で発行された化学書データベース)	3,626	3,228	1,716	1,897	2,935	2007年4月~2020年3月
39 官報情報データベース▲	19	6	7	3(1-3月)	13	2006年4月~
40 聞蔵II ビジュアル (朝日新聞記事索引) *	20,858	40,380	60,518	25,143	49,837	2006年10月~
41 KISS △	5,666	3,850	2,561	2,618	2,887	2008年8月~
42 公的判例集データベース *	371	387	469	349	346	2011年7月~
43 Kuselit Online	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2014年4月~2020年3月
44 教保文庫スカラー	800	328	546	744	426	2014年4月~2020年3月
45 LearnTechLib	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2015年~
46 LEX/DB インターネット (法律情報データベース) *	5,548	5,483	5,135	5,156	6,196	2003年4月~

	種 別	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	備 考
47	Lexis Advance (法情報索引)	4,047	2,198	1,562	773	1,505	2003年～
48	magazineplus (和雑誌記事索引)	14,875	21,913	41,859	18,968	45,239	2003年～
49	毎索 (毎日新聞記事索引)	9,187	6,321	6,423	6,261	5,565	2005年4月～
50	MathSciNet (数学文献データベース)	10,363	10,152	11,017	7,751	19,030	2006年11月～2019年12月
51	MLA International Bibliography *	—	—	—	—	23,415(4-12月)	2011年4月～2020年3月
52	Mpac (マーケティング情報サービス)	1,101	1,081	557	566	347	2007年10月～2020年3月
53	日本文学 web 図書館 (和歌&俳諧ライブラリー) *	158	236	495	325	348	2013年4月～2020年3月
54	日経 NEEDS-Financial QUEST (社会・地域統計) ★	106,807	4,920	17,903	33,457	1,353	2002年7月～
55	日経テレコン(日本経済新聞ビジネス情報データベース) ☆	1,555,369	1,512,327	1,545,578	1,814,449	3,005,849	2003年10月～
56	19th Century U.S. Newspapers	340	138	122	431	218	2014年4月～2020年3月
57	Oxford English Dictionary	650	1,089	791	469	361	2014年4月～2020年3月
58	ProQuest Basic Search (専門分野型データベース)	3,397	2,142	2,218	2,697	3,173	2003年11月～
59	ProQuest Congressional	91	32	33	10	65	2003年～2020年3月
60	PsycARTICLES (心理学文献データベース)	2,024(4-12月)	3,872	3,622	6,349	4,147	2014年4月～
61	PsycINFO (心理学雑誌記事・文献索引)	2,066(4-12月)	3,835	3,634	6,284	4,151	2006年4月～2020年3月
62	Regional Business News (地域ビジネス関連データベース)	5,186	863	4,790	4,363	2,908	2012年2月～
63	産経新聞データベース *	1,991	2,519	2,527	2,481	2,951	2014年4月～
64	SciFinder (化学情報データベース)	63,334	61,294	57,728	46,100	58,747	2003年～
65	Super 法令 web *	145	95	76	93	105	2011年7月～
66	The Times Digital Archive 1785-1985	179	201	203	739	172	2012年7月～2020年3月
67	Translation Studies Bibliography *	18	6	1	28	46(1-3月)	2012年4月～2019年3月
68	Web of Science (引用・被引用論文索引)	31,653	34,908	34,129	43,353	48,013	2001年8月～
69	Web OYA-bunko (大宅壮一文庫雑誌記事索引) *	297	225	311	256	322	2005年11月～2020年3月
70	Westlaw Next (法情報索引)	2,350	3,055	6,912	4,257	2,673	2003年～
71	World Bank e-Library	25	13	16	14	12(1-3月)	2014年4月～2019年3月
72	山一証券株式会社第一期・オンライン版△	32	9	33	19	13	2014年4月～
73	ヨミダス歴史館 (読売新聞記事索引)	10,072	11,456	11,312	10,527	16,560	2005年4月～
74	Cold War Voices of Confrontation and Conciliation	—	—	—	42	3	2019年4月～
75	Japan-U.S. Economic Relations Group Records, 1979-1981	—	—	—	61(7-12月)	3	2018年7月～
76	群書類従(正・続・続々)〈JKBooks〉	—	—	—	274(4-12月)	746	2018年4月～
77	東洋経済新報/週刊東洋経済 デジタルアーカイブス 第1期[大正期]〈JKBooks〉	—	—	—	0(4-12月)	1	2018年4月～

## 注1 統計算出方法について

- (1) 各統計は、1月～12月までの検索回数の合計である。統計値については、データベース提供機関が独自の基準で計数した値をそのまま利用しているため、それぞれの統計値が必ずしも同じ算出方法であるとは限らない。
- (2) \*はログイン回数、☆は結果表示件数、★はダウンロード件数、△はページビュー数、▲は利用申込者数を示す。
- (3) 表中の「—」は、当該年度が利用(統計計上)開始前または利用提供終了(提供方法変更)後であること、または別の統計に含まれていることを示す。

## 注2 各データベースに係る注記

- 4 Business Archives Online (企業史料統合データベース) は、2014年4月より有価証券報告書を含む。
- 6 CiNii は、CiNii Articles の論文利用統計から、2014年の統計より CiNii 全体の利用統計に計数の方法が変更になった。NII-ELS の終了に伴い、2017年4月よりサイト上での論文提供サービスを終了した。
- 13 2014年以降の統計は58に含まれる。
- 19 ゴールドスマス・クレス両文庫所蔵社会科学系学術図書データベース(MOMW I) は、2014年4月以降、The Making of the Modern World, Part II: 1851-1914(MOMW II) を含む。2015年からプラットフォームの変更に伴い検索回数からダウンロード件数へ計数の方法が変更になった。
- 21 Hein Online は、World Constitutions Illustrated, U.S. Federal Agency Documents, Decisions, and Appeals, History of International Law を含む。
- 30 International Index to Music Periodicals (IIMP) Full Text は、現在 Music Periodicals Database に名称変更されている。また、2015年以降の統計は58に含まれる。
- 32 ジャパンナレッジは、2015年から計数方式を Counter 形式に改め、ログイン回数から検索回数に計数の方法が変更になった。また、2019年の統計から、ジャパンナレッジのプラットフォームを使用している「鎌倉遺文 I」も含まれるようになった。
- 36 Journal Citation Reports は、2014年4月からのプラットフォーム変更(JCRからIncitesへ)に伴い、2015年は以降は Visit 数を計数している。
- 37 JURIS Online の統計値には、文書取出件数(文書〈全文・要約・抄録等〉の閲覧件数)を計上している。
- 39 官報情報データベースの2018年統計値は、4-12月の数値6と1-3月の数値3を足した9が正しいものとなる。
- 47 Lexis.com は、2017年4月に Lexis Advance にバージョンアップした。
- 49 毎索は、2014年から2015年3月までの計数方法は、検索ログ件数である。
- 51 2015年～2019年3月までの統計は58に含まれる。2019年は出版社が変更となり、個別にログイン数を計数している。
- 58 ProQuest Basic Search には、ERIC、LISA、LLBA、Worldwide Political Science Abstracts、Sociological Abstracts、PILOTS、Social Services Abstracts、Entertainment Industry Magazine Archive、Music Periodicals Database、MLA International Bibliography (2019年3月まで)、PsycARTICLES (2015年3月まで)、2006年4月からは PsycINFO (2015年3月まで) が含まれる。また、2012年10月からは ProQuest Dissertations & Theses Full Text (2014年4月より ProQuest Dissertations & Theses Global に変更)、2014年4月からは ProQuest Historical Annual Reports が含まれる。2014年4月より計数の方法が変更になり、統計値には ProQuest が提供する ProQuest Congressional も含まれるようになった。
- 60・61 PsycARTICLES、PsycINFO は提供プラットフォームの変更により2015年4月より計数できるようになった。
- 63 2018年4月より、オンライン記事検索サービスの名称が、The Sankei Archives から産経新聞データベースへ変更された。

## k リポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数

リポジトリ登録件数(累計)	101
同上 アクセス数(累積)	57,406
同上 ダウンロード数(累積)	42,457

注1 アクセス数(累積)およびダウンロード数(累積)には、システム上の事情により、2019年4月から2019年6月分は含まない。

## 1 閲覧・ダウンロード件数

電子化資料	画像数	刊行物	掲載状態	
源氏物語他 78 点	25,852	図書館フォーラム 24 号	全文掲載	50 ページ

## m キャンパス間相互利用件数（予約取寄せ）

		提供冊数（受付館）				
		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合計
受入冊数 (依頼館)	総合図書館		1,510	971	1,669	4,150
	高槻キャンパス図書館	735		48	113	896
	ミューズ大学図書館	1,666	170		148	1,984
	堺キャンパス図書館	461	43	46		550
	合計	2,862	1,723	1,065	1,930	7,580

## n 利用者用パソコン設置台数

総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合計
127	9	10	16	162

## (3) 蔵書に関する統計

## ① 収書状況

## a 図書資料の所蔵数（2019年度末現在）

区分	種別	図書の冊数（冊）		定期刊行物の種類数		視聴覚資料の所蔵数 (点数)	電子ジャーナルの種類 (点数)	電子書籍 (点数)
		図書の冊数	開架図書の冊数(内数)	国内書	外国書			
総合図書館		2,186,252	237,619	15,150 (2,000)	8,812 (830)	123,958	14,787	9,321
高槻キャンパス図書館		57,269	57,269	271 (151)	246 (53)	488	—	—
ミューズ大学図書館		48,116	48,116	409 (144)	72 (17)	228	—	—
堺キャンパス図書館		51,210	51,210	181 (144)	44 (22)	166	—	—
法学部資料室		32,425	32,425	1,013 (393)	49 (15)	80	3	0
経商資料室		32,788	32,788	815 (410)	228 (30)	4	1	0
社会学部資料室		28,757	28,757	1,253	50	314	0	0
法科大学院ロー・ライブラリー		15,751	15,751	75	0	0	0	0
会計専門職大学院図書資料室		1,308	1,308	10	0	0	0	0
東西学術研究所		18,726	0	634 (257)	144 (30)	0	0	0
経済・政治研究所		19,960	0	54 (54)	1 (1)	0	2	0
法学研究所		15,812	0	77 (77)	0 (0)	0	1	0
人権問題研究室		25,841	25,115	72	2	140	0	0
計		2,534,215	530,358	20,014 (3,630)	9,648 (998)	125,378	14,794	9,321

注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。

注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。下段（ ）は内数で、継続して受け入れている種類数。

注4 電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。

## b 過去5年間の図書の受入数 (単位：冊)

館	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
総合図書館		17,329	21,730	25,369	20,821	20,016
高槻キャンパス図書館		1,395	1,501	1,672	1,579	1,521
ミューズ大学図書館		1,094	1,450	1,588	1,417	1,560
堺キャンパス図書館		1,484	1,896	1,998	1,896	1,967
計		21,302	26,577	30,627	25,713	25,064

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

## c 図書資料異動状況 (単位：点)

区分	種別	和書	洋書	マイクロ資料		その他	合計
				フィルム	フィッシュ		
取得内訳	購入	16,176	3,757	141	0	247	20,321
	受贈	880	105	19	0	0	1,004
	その他	2,229	1,410	72	0	28	3,739
	合計	19,285	5,272	232	0	275	25,064
	除籍抹消	3,730	12,495	2	0	0	16,227
	増減計	15,555	-7,223	230	0	275	8,837
	期末在高	1,397,144	817,326	96,218	24,149	8,010	2,342,847

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「種別」の「その他」はAV資料、CD-ROM、DVD-ROM等の資料を含む。

## d 雑誌・新聞受入種類数

区分	種別	雑誌・新聞		
		和	洋	合計
取得内訳	購入	1,501	856	2,357
	受贈	878	42	920
	その他	60	24	84
	合計	2,439	922	3,361

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

② 分類別所蔵図書冊数(日本十進分類法による)

分類	内 訳	和	洋	合 計
000	総 記	15,429	11,884	27,313
010	図書館	6,833	4,643	11,476
020	図書・書誌学	17,253	14,601	31,854
030	百科事典	3,550	3,959	7,509
040	一般論文・講演集	18,154	1,571	19,725
050	逐次刊行物・年鑑	23,217	7,969	31,186
060	学会・団体・調査機関	1,348	474	1,822
070	ジャーナリズム・新聞	17,247	7,448	24,695
080	叢書・全集	56,622	18,586	75,208
090	郷土資料	1,249	2,338	3,587
	<b>総記・計</b>	<b>160,902</b>	<b>73,473</b>	<b>234,375</b>
100	哲 学	4,161	5,406	9,567
110	哲学各論	2,539	3,901	6,440
120	東洋思想	18,572	750	19,322
130	西洋哲学	7,876	20,122	27,998
140	心理学	13,747	15,537	29,284
150	倫理学	3,904	1,487	5,391
160	宗 教	5,895	4,218	10,113
170	神 道	2,623	56	2,679
180	仏 教	15,824	1,904	17,728
190	キリスト教	6,515	8,925	15,440
	<b>哲学・計</b>	<b>81,656</b>	<b>62,306</b>	<b>143,962</b>
200	歴 史	6,655	10,597	17,252
210	日本史	52,734	1,220	53,954
220	アジア史・東洋史	32,834	5,167	38,001
230	ヨーロッパ史・西洋史	5,418	17,614	23,032
240	アフリカ史	338	1,574	1,912
250	北アメリカ史	769	2,777	3,546
260	南アメリカ史	96	93	189
270	オセアニア史	97	164	261
280	伝 記	22,301	7,106	29,407
290	地理・地誌・紀行	30,282	6,731	37,013
	<b>歴史・計</b>	<b>151,524</b>	<b>53,043</b>	<b>204,567</b>
300	社会科学	13,438	8,174	21,612
310	政 治	42,055	48,989	91,044
320	法 律	63,214	89,294	152,508
330	経 済	90,675	94,801	185,476
340	財 政	8,062	6,872	14,934
350	統 計	9,335	5,789	15,124
360	社 会	64,051	52,919	116,970
370	教 育	48,959	13,772	62,731
380	風俗習慣・民俗学	17,668	4,416	22,084
390	国防・軍事	3,933	1,442	5,375
	<b>社会科学・計</b>	<b>361,390</b>	<b>326,468</b>	<b>687,858</b>
400	自然科学	7,696	8,741	16,437
410	数 学	10,252	14,977	25,229
420	物理学	6,078	15,557	21,635
430	化 学	6,481	13,116	19,597
440	天文学・宇宙科学	2,378	1,031	3,409
450	地球科学・地学・地質学	7,373	4,260	11,633
460	生物科学・一般生物学	6,515	8,512	15,027
470	植物学	1,267	226	1,493
480	動物学	2,354	492	2,846
490	医学・薬学	25,281	10,609	35,890
	<b>自然科学・計</b>	<b>75,675</b>	<b>77,521</b>	<b>153,196</b>
500	技術・工学・工業	15,843	21,877	37,720
510	建設工学・土木工学	18,915	12,211	31,126
520	建築学	15,767	6,452	22,219
530	機械工学・原子力工学	10,539	8,926	19,465
540	電気工学・電子工学	23,619	18,037	41,656
550	海洋工学・船舶工学・兵器	1,502	380	1,882
560	金属工学・鉱山工学	5,843	6,254	12,097
570	化学工業	7,146	6,930	14,076
580	製造工業	4,616	1,549	6,165
590	家政学・生活科学	1,863	418	2,281
	<b>技術・計</b>	<b>105,653</b>	<b>83,034</b>	<b>188,687</b>

分類	内 訳	和	洋	合 計
600	産 業	5,399	415	5,814
610	農 業	12,555	4,335	16,890
620	園芸・造園	1,253	221	1,474
630	蚕糸業	230	1	231
640	畜産業・獣医学	978	149	1,127
650	林 業	1,425	238	1,663
660	水産業	1,779	278	2,057
670	商 業	17,486	14,610	32,096
680	運輸・交通	9,586	7,126	16,712
690	通信事業	3,538	2,399	5,937
	<b>産業・計</b>	<b>54,229</b>	<b>29,772</b>	<b>84,001</b>
700	芸 術	14,166	6,635	20,801
710	彫 刻	1014	300	1,314
720	絵画・書道	17,982	4,007	21,989
730	版 画	836	373	1,209
740	写真・印刷	2,064	508	2,572
750	工 芸	4,304	1,377	5,681
760	音楽・舞踏	6,744	1,673	8,417
770	演劇・映画	14,947	3,733	18,680
780	スポーツ・体育	10,246	3,064	13,310
790	諸芸・娯楽	1,819	237	2,056
	<b>芸術・計</b>	<b>74,122</b>	<b>21,907</b>	<b>96,029</b>
800	言 語	4,969	15,546	20,515
810	日本語	11,341	301	11,642
820	中国語・東洋の諸言語	9,769	1,132	10,901
830	英 語	6,993	9,265	16,258
840	ドイツ語	1,109	4,466	5,575
850	フランス語	1,083	3,136	4,219
860	スペイン語	494	566	1,060
870	イタリア語	141	406	547
880	ロシア語	407	1,352	1,759
890	その他の諸言語	431	944	1,375
	<b>言語・計</b>	<b>36,737</b>	<b>37,114</b>	<b>73,851</b>
900	文 学	12,546	10,957	23,503
910	日本文学	100,580	1,624	102,204
920	中国文学・東洋文学	29,961	801	30,762
930	英米文学	8,602	25,642	34,244
940	ドイツ文学	3,350	13,534	16,884
950	フランス文学	4,660	12,654	17,314
960	スペイン文学	1,602	10,840	12,442
970	イタリア文学	502	569	1,071
980	ロシア文学	1,893	3,197	5,090
990	その他の諸文学	515	1,491	2,006
	<b>文学・計</b>	<b>164,211</b>	<b>81,309</b>	<b>245,520</b>
	<b>合 計</b>	<b>1,266,099</b>	<b>845,947</b>	<b>2,112,046</b>
	その他			230,801
	<b>図書館蔵書数</b>			<b>2,342,847</b>

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。  
 注2 2014年度にミュース大学図書館および堺キャンパス図書館の資料の移管を受けた。  
 注3 「その他」は、個人文庫などの未分類図書を表す。

③ 分類別所蔵雑誌種類数(日本十進分類法による)

分類	内 訳	和	洋	合 計
000	総 記	4,776	976	5,752
100	哲 学	486	525	1,011
200	歴 史	844	338	1,182
300	社 会 学	4,020	3,537	7,557
400	自 然 学	744	934	1,678
500	技 術	1,721	1,618	3,339
600	産 業	681	359	1,040
700	芸 術	823	170	993
800	言 語	262	267	529
900	文 学	1,642	449	2,091
	その他	12	1	13
	<b>合計</b>	<b>16,011</b>	<b>9,174</b>	<b>25,185</b>

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。  
 注2 2014年度にミュース大学図書館および堺キャンパス図書館の資料の移管を受けた。  
 注3 重複するタイトルは、カウントしていない。

## ④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合

## a 分類別冊数

年度		2019年度			
分類	館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館
000	総記	218,842	10,760	3,339	1,434
100	哲学	133,419	3,297	2,354	4,892
200	歴史・地理	197,176	2,328	2,209	2,854
300	社会科学	634,766	18,094	16,663	18,335
400	自然科学他	133,829	5,010	8,069	6,288
500	技術・工学他	174,592	5,503	7,602	990
600	産業	78,482	2,393	2,449	677
700	芸術・スポーツ他	84,568	2,546	1,002	7,913
800	言語	65,719	4,661	1,799	1,672
900	文学	234,058	2,677	2,630	6,155
	その他	230,801	0	0	0
	合計	2,186,252	57,269	48,116	51,210

注1 総合図書館の蔵書のうち「その他」は、貴重書や特別コレクション・書状など十進分類法になじまないもの。

注2 2017年度から「その他」は、4キャンパス図書館ごとに算出することとした。

## b 分類別冊数の全体に占める割合

年度		2019年度			
分類	館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館
000	総記	10%	19%	7%	3%
100	哲学	6%	6%	5%	10%
200	歴史・地理	9%	4%	5%	6%
300	社会科学	28%	31%	34%	36%
400	自然科学他	6%	9%	17%	12%
500	技術・工学他	8%	10%	16%	2%
600	産業	4%	4%	5%	1%
700	芸術・スポーツ他	4%	4%	2%	15%
800	言語	3%	8%	4%	3%
900	文学	11%	5%	5%	12%
	その他	11%	0%	0%	0%
	合計	100%	100%	100%	100%

## ⑤ 図書館資料費執行額5年間の推移

(単位：円)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
図 書	和	61,906,256	90,865,375	86,294,134	84,288,861	83,701,578
	洋	55,116,434	81,407,431	79,951,962	71,552,046	67,391,716
雑 誌	和	36,374,648	30,454,818	29,520,048	32,401,608	28,552,190
	洋	334,227,263	365,449,403	330,814,027	348,152,804	355,108,041
電子媒体		5,259,807	629,996	3,420,619	2,233,737	1,605,997
マイクロ資料	和	1,213,056	629,856	1,797,336	7,318,080	3,333,456
	洋	0	833,902	373,554	0	0
その他の資料		43,495,542	14,256,315	18,258,932	27,649,781	37,072,965
外部データベース		103,823,214	93,344,220	93,257,202	90,371,348	86,242,698
合 計		641,416,220	677,871,316	643,687,814	663,968,265	663,008,641
製 本 費		5,610,075	8,853,744	7,602,663	6,959,015	6,579,734

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「電子媒体」はCD-ROM、DVD-ROM等を含む。

注3 「その他の資料」には、追録、AV資料を含む。

## ⑥ 電子資料に係る経費の推移 (単位：円)

	2018年度	2019年度
電子ジャーナル経費執行額	278,621,627	282,533,596
データベース経費執行額	90,371,348	86,242,698
電子書籍経費執行額	16,201,226	25,577,065
合 計	385,194,201	394,353,359

注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算を執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。

## (4) その他関連統計等

## ① 過去5年間の図書館職員

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
専 任 職 員 〔人 数〕	21 (11)	21 (11)	19 (10)	18 (8)	18 (7)
定時職員 〔総勤務時間〕	11,680	11,680	11,680	11,750	12,700
備 考	収書担当業務に2名、サービス担当業務に2名、計4名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に2名、サービス担当業務に3名、システム担当業務に1名、計6名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に2名、サービス担当業務に3名、システム担当業務に1名、計6名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を採用。

注1 専任職員の（ ）は内数で、女子の人数を示す。

注2 定時職員は各人の勤務時間数が異なり、人数での比較が困難なため総予算時間数を記載した。

注3 4月1日現在の職員数を示す。

## ② 学生の閲覧座席数（2020年4月1日現在）

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対す る座席数の割合 $A/B*100$ (%)	その他の学習 室の座席数	備 考 【学生収容定員内訳】
総合図書館	2,260	23,472	9.63	—	(千里山キャンパス) ① 学部 21,668名 ② 大学院 1,804名
高槻キャンパス図書館	235	2,274	10.33	—	(高槻キャンパス) ① 学部 2,090名 ② 大学院 184名
ミュージズ大学図書館	134	1,145	11.70	—	(高槻ミュージズキャンパス) ① 学部 1,100名 ② 大学院 45名
堺キャンパス図書館	272	1,349	20.16	—	(堺キャンパス) ① 学部 1,320名 ② 大学院 29名
計	2,901	28,240	10.27	—	① 学部 26,178名 ② 大学院 2,062名

## ③ 10年間の展示会テーマと会期

年 度		展示のテーマと講演会の演題	会 期
2010年度	特別展	「資料に描かれた象一渡来象を中心に―」	2010年4月1日～5月16日
2011年度	特別展	「大坂文人・学者の世界―江戸時代を中心に―」	2011年4月1日～5月15日
	EUi企画	日・EUフレンドシップウィーク展示「ヨーロッパのメガネ男子」	2011年5月20日(金)～6月3日(金)
2012年度	EUi企画	日・EUフレンドシップウィーク展示「LOVE LETTER from Europe」	2012年5月28日(月)～6月11日(月) (6月5日(火)除く)
2013年度	特別展	「なにわユーモア画譜」展特別企画としての「プレ展覧会 春爛漫コレクション」	2013年4月1日(月)～4月8日(月)
		大正葵丑蘭亭会百周年（おおさか）記念行事	2013年4月1日(月)～5月19日(日) (総合図書館第一会議室及び展示室)
	EUi企画	日・EUフレンドシップウィーク展示「EU諸国の言語に翻訳された日本の小説」	2013年6月3日(月)～6月14日(金)
2014年度	図書館・博物館連携企画展	関西大学名品万華鏡 ―館選イチョン！― (於：関西大学博物館)	2014年4月1日(火)～5月18日(日)
	関西大学図書館創設100周年記念展示	関西大学図書館 100年のあゆみ展	2014年4月1日(火)～5月18日(日)
	EUi企画	日・EUフレンドシップウィーク展示「アナザー・ワールド」	2014年6月30日(月)～7月14日(月)
	関西大学創立130周年記念展示	科学と芸術―著名院士学者書法展―	2015年3月27日(金)～4月23日(木)
2015年度	EUi企画	日・EUフレンドシップウィーク展示「EUのMultilingualism」	2015年5月8日(金)～5月24日(日)
2016年度	EUi企画	日・EUフレンドシップウィーク展示「ヨーロッパのカフェと文学」	2016年5月12日(木)～5月26日(木)
2017年度	実施せず		
2018年度	記念展示	「石濱純太郎とその学問・人脈」展	2018年10月22日(月)～11月17日(土)
2019年度	特別展示	新元号「令和」の出典である『万葉集』	2019年4月4日(木)～4月24日(水)
		新元号「令和」ゆかりの資料～『万葉集』『文選』『和漢朗詠集』を中心に～	2019年5月12日(日)～6月30日(日)
	企画展示	平成―11,070days―	2019年5月12日(日)～8月2日(金) (総合図書館2階開架カウンター前)
		企画展「わたしたちは世界を変えられる」	2019年9月21日(土)～2020年1月30日(木) (総合図書館2階開架カウンター前)
		SDGsパネル展「パートナーシップでつくる私たちの世界」	2019年11月16日(土)～12月6日(金)

注1 展示会のうち場所を示していない場合は、総合図書館展示室において開催した。



## ④ 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
吹田市立博物館	「大宝」の発見～年号に問う吹田の歴史～	2019年4月4日～4月17日	萬葉集 20巻 巻第5	L25**1-36*5
TBS テレビ	「Nスタ」トクする3コマニュース～海藻の歴史～	2019年4月12日	伊勢物語, 2巻 上	C*913.32**1-1
三重県立美術館	没後200年記念 増山雪齋展	2019年4月20日～6月16日	黄初平圖	C2*721.6*M1*2-1/2-2
			煎茶式	*791.7*M1*1
			梅屋青圃合作梅屋書画三葉合装	N8C2*721.7*2
			五柳先生図	N8C2*721.7*3
			山水図	C2*721.7*T1*2
			花蝶之図	N8C2*721.7*5
			[筆端游心]	N8*721.7*13
株式会社テレビマンユニオン	世界ふしぎ発見! 万葉集～千年の時を超える日本人らしさの秘密～	2019年8月24日	万葉集	C*911.221**2-1/20
			萬葉集 20巻	CL25**1-1*1/10
丸善雄松堂株式会社	「丸善」創業150周年記念稀書展 西洋の名著との出会い	2019年10月9日～10月15日	Das Kapital: Kritik der politischen Oekonomie	C*331.3418**1-1
細見美術館	琳派展 21 没後200年 中村芳中	2019年10月26日～12月22日	大坂文人合作扇面	C2*721.7*O3*1
			光琳画譜	N8C2*721.5*2*1/2
			万家人名録, 5編	L22*911**162/166
			住吉紀行	*917.2*K2*1
			百家交筆おくの細道	*914.5*M8*1-1/1-2
			和漢名筆畫本手鑑, 6巻	*721.4*O2*3-6
			光琳画式	*721.5*O1*2
嵩村畫譜	*721.5*S1*2(I)			
國學院大學博物館	古物を守り伝えた人々 —好古家たち Antiquarians—	2020年1月25日～3月15日	神代石之図	N8C2*210.2*1
笠岡市立竹喬美術館	近代花鳥画の名手 菊池芳文	2020年1月25日～3月8日	[群人物図]/ 菊池芳文画	C2*721.6*K4*1
株式会社毎日放送	「News ミント」	2020年3月18日	朝野群載 30巻 巻21-22	LI2*210.09*M4*1-21/22

## 2 2019年度 図書館自己点検・評価委員会名簿

	氏 名	備 考
規程第5条1号委員	新 井 泰 彦	委員長・図書館長
規程第5条2号委員	石 井 康 博	図書委員会委員（文学部選出）
	宇都宮 浄 人	図書委員会委員（経済学部選出）
	川 口 寿 裕	図書委員会委員（社会安全学部選出）
	石 垣 泰 輔	図書委員会委員（環境都市工学部選出）
規程第5条3号委員	山 崎 秀 樹	学術情報事務局長
規程第5条4号委員	久保田 真 也	学術情報事務局次長（図書館担当）
規程第5条5号委員	濱 生 快 彦	図書館事務室
	坂 本 翼	図書館事務室
	藤 井 泰 彦	図書館事務室

【事務局（図書館事務室）】 藤井 泰彦、畠山 勝代

### 3 図書館自己点検・評価委員会規程

制定 平成6年1月28日

(趣旨)

**第1条** この規程は、関西大学図書館規程第7条第2項の規定に基づき、図書館自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(任務)

**第2条** 委員会は、図書館における教育研究の支援活動及び管理運営の自己点検・評価の取組を行うため、次の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価の方針の策定並びに点検項目の設定及び変更
- (2) データの収集、分析及び検討
- (3) 報告書の作成
- (4) その他自己点検・評価及び第三者評価に関する事項

(各機関の協力)

**第3条** 委員会は、前条第2号に規定するデータ収集のため、それに関わる各機関に対して協力を求めることができる。

(報告)

**第4条** 委員会は、自己点検・評価の結果を図書館長に報告し、図書委員会の議を経て公表することができる。

(構成)

**第5条** 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 図書館長
- (2) 図書委員のうちから図書館長が指名する者若干名
- (3) 学術情報事務局長
- (4) 学術情報事務局次長（図書館担当）
- (5) 図書館事務職員から若干名
- 2 図書館長が必要と認めた場合、2名以内に限り、図書委員会の議を経て大学内外の有識者に委員を委嘱することができる。

(委員長等)

**第6条** 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は図書館長をもって充て、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(委員の任期)

**第7条** 第5条第1項第2号及び第5号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

**第8条** 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

- 3 委員会は、必要に応じて、委員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

**第9条** 委員会の事務は、図書館事務室が行う。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成13年10月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この規程（改正）施行後最初に第5条第3号及び第4号の規定により選出された委員の任期は、第7条第1項本文の規定にかかわらず平成16年3月31日までとする。

附 則

この規程（改正）は、平成18年10月12日から施行し、平成18年8月1日から適用する。

附 則

この規程（改正）は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、2019年10月1日から施行する。

## 2019年度 大学図書館職員短期研修に参加して

河崎 早紀

### 1. はじめに

本研修は、大学図書館等の活動を活性化するため、大学図書館等の職員が今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な図書館業務の基礎知識・最新知識を修得することを目的として実施されている。

2019年度は国公立大学図書館をベースとした大学図書館の現状や課題、今後の図書館職員としてあるべき姿などについて、国公立大学図書館、NII、国立国会図書館の職員など、計12名の講師により実例を交えた講義が行われた。

最終日には、研修のまとめとして事前に提出していた課題を基にしたグループ発表を行った。

本レポートはこの研修の中から講義内容を中心に報告する。

#### ■実施概要

日 時：2019年10月1日(火)～4日(金)  
 9:30～17:30、9:30～17:00  
 会 場：京都大学附属図書館

### 2. 研修内容

#### (1) 講 義

##### ・大学図書館とは何か

大学図書館とは、各大学に附属する図書館のことである。そのため、所蔵する蔵書（電子資料含む）の分野が大学によって異なり、多岐に渡る。そこで勤務する職員は専門知識が必要であり、図書館職員として日々の業務を行うことが多い。しかし、先にも述べたように、大学図書館とは大学に附属するものであり、職員も図書館職員である前に大学職員であるということを忘れてはならない。図書館をより良いものにするためには、所属する大学のポリシーや大学が置く【重点】を把握し、同じ方向に向いてあるべき図書館の姿を考える必要がある。

また、図書館の在り方を考える上で近年課題とな

っているのが、情報の提供や電子資料の扱いである。近年の図書館は紙だけを保管するのではなく、電子資料の購入、管理も必須となり、紙と電子のバランスをいかに取るかが重要と言える。毎年価格が高騰する電子ジャーナル問題は図書館業界では深刻な問題として挙げられる。しかし、次々と発生する研究用データをいかに管理するかも今後の課題であり、情報をつなげ、可視化することもこれからの図書館職員の役割といえる。

では、学生にとっての大学図書館とは何かを考えたい。

大学図書館とは自学自習の場であり、情報リテラシー教育を行う場でもある。自学自習の場としては、近年ラーニングコモンズを設置する大学が増加している。しかし、ただラーニングコモンズという空間や、図書館という場のみを提供するだけでは、学生への支援にはならないため、大学図書館としてその場を活用できるよう学生たちに促す必要がある。そのためには、あらかじめ図書館からどのようにその場を利用するのかを発信することが重要である。例えば、「このエリアは会話可、グループワーク可」「このエリアはサイレントエリアのため会話禁止」などあらかじめ設定することで、必要に応じて学生たちが自ら目的にあった活用場所を選ぶため、クレームにもつながりにくい。

また、新入生への情報リテラシー教育に力を入れる大学も多い。京都大学を例にすると、毎年新入生を対象に合同ガイダンスを行う。主な内容は「図書館の活用と情報探索」であり、半年間、全14コマの講義と講習を4人の教員と約10人の図書館職員で作りあげる。また、図書館内ではスタンプラリーを行い、最後にOPAC検索をするという流れで利用者自身に館内を回り学んでもらう。館内ツアーを行う必要がなく、利用者も自分のペースで進めることができる。

情報リテラシー教育において重要なことは、利用者を知り、大学を知るということである。卒業生の

進路は大学により異なる。半数以上が大学院に進学する大学もあれば、多くが就職する大学もある。そのことを十分に把握した上で学生たちの未来に役立つ情報リテラシー教育を行わなければ大学図書館としての意味をなさないと言える。

#### • 大学図書館での実務

図書館職員の実務として「目録業務」がある。「目録」とは資料を組織化し、資料検索できる状態にしたものである。ここには様々な仕組みやルールが細かく定められており、専門知識も要するため、図書館職員が皆行える業務ではない。図書館に所蔵する資料は冊子体のものとは限らず、マニ車（チベット仏教の仏具）や、文字が書かれた（彫られた）板なども必要であれば資料として登録し所蔵している。目録作業が完了しなければ、図書館は資料の所蔵を公開することができないため、図書館の整理業務において非常に重要な業務である。

目録に関しては2020年6月に正式運用開始予定のCAT2020によりこれまでのルールと大幅に変更される箇所もあり、今後の運用に注目が集まっている。

実務といえばもう一つ利用者対応がある。ここで重要なのは各図書館においてあらかじめリスクマネジメントの策定をすることである。また、利用者の迷惑行為の判断基準として、他の利用者の利用可能性をどの程度阻害しているのか、図書館職員の通常業務に支障が起こる程度かどうかなど慎重に見極める必要がある。利用者からのクレームにおいても、機械的な対応になっていないか意識し、同僚と一緒に対応するなど、図書館へのクレームを自分個人へのクレームだと受け取らないよう注意する（ストレスコーピング）ことも重要である。

#### • グループ討議

今回の研修では最終日にグループでの発表があったが、実際にグループで発表内容を話し合う前に、グループ討議とは何かについて、岩田好司氏（久留米大学外国語教育研究所教授）より講義があった。

グループ討議を行う際、重要なのは伝達可能なことは「知識」ではなく「情報」であるということを理解した上で、インプットされた情報を深め合うことであり、効果的にグループ討議を進めるには役割分担を明確にし、特に「ファシリテーション（進行役）」の役割を誰もが意識し、一方通行にならないよう、協同により情報をアウトプットする必要があるとのことだった。これらの流れを有効に進めるための場が大学図書館内でいうとコモンズであると言え

る。

実際にグループでの話し合いを開始すると、それぞれ所属大学も違えば、担当業務も経験も様々であり、「情報」の伝達がうまく行われず、どの方向で進めるのかを定めることそのものが困難であった。個人の思考を集団の思考へとまとめるためには、まず腑に落ちない点をメモし、さらに話し合うことが重要とのことであった。それらを繰り返すうちに新たな発見や、気づきが生まれ、初見の人間の前で自身の意見を述べることへの抵抗が徐々に和らいでいったように感じた。

結果的に、発表内容に修正点はあったものの、グループとしては納得のいくものに仕上がったように思う。

### 3. おわりに

今回の研修は主に国公立大学の図書館がベースになっていたため、講師陣もそれらの大学で勤務されている方々が多かった。私立大学の多くは図書館職員とは言え、数年で他部署異動になることも多く、職員の入れ替わりも激しい。そのため「今後数十年後の大学図書館を担うのは皆さんです」というお話しはとても新鮮だった。

また、海外研修での経験や、国立情報研究所（NII）の学術事業、国立国会図書館でのデジタルコレクションとデジタル化資料の送信サービスなどの講義もあり、自身が多少は知った気になっていた大学図書館での業務や図書館と他機関との連携はほんの一部でしかないことを痛感した。

本研修会では多くの他大学図書館の職員の方々とお話しをする機会があり、とても良い刺激を受けた。これは滅多とないことであり、このような研修会に参加させていただけたことに感謝したい。

現在、雑誌担当として業務に追われる日々であるが、担当業務にのみ目を向けるのではなく、大学図書館としてどうあるべきかを考えるために、今一度大学を知ることから始めたいと思う。

#### 【講師一覧（研修日時順）】 ※所属は研修当時の情報

江川 和子氏（東京大学附属図書館事務部長）

森 いづみ氏（信州大学附属図書館管理課長）

坂本 拓氏（京都大学附属図書館利用支援課利用支援掛 掛長）

村上 遥氏（東京外国語大学総務企画部学術情報課目録

2019年度大学図書館職員短期研修に参加して

係係長)

岩田 好司氏 (久留米大学外国語教育研究所教授)  
千 錫烈氏 (関東学院大学社会学部現代社会学科准教授)  
西脇亜由子氏 (明治大学学術・社会連携部図書館総務事務室)  
田口 忠祐氏 (東京大学医学部・医学系研究科情報サービス係係長)  
石黒 康太氏 (神戸大学附属図書館情報サービス課海事科学情報サービス係)

坂本 里栄氏 (西南学院大学学術支援部図書情報課)  
小野 亘氏 (国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長)  
山下真由子氏 (国立国会図書館関西館電子図書館課電子化資料提供係)  
山中 節子氏 (京都大学附属図書館学術支援課長)

(かわさき さき 図書館事務室)

## 第17回日本古典籍講習会 参加報告

上 田 夏 実

2019年度実施の講習会に参加させていただいた。ついで、その内容を以下のとおり報告する。

### 1 概要

#### (1) 主旨

日本古典籍の整理・目録化を促進し、広く活用されるよう環境の整備を図るために、各所蔵機関の図書館員等を対象として書誌学の専門知識や整理方法の技術修得を目的に研修を行うこと。

#### (2) 主催・期間

人間文化研究機構国文学研究資料館  
国立国会図書館  
2019年7月2日(火)～5日(金) (計4日間)

### 2 実施内容

#### (1) 講義タイトル

「はじめての古典籍」「くずし字について」  
「写本について」「版本について」  
「蔵書印について」「絵入り本について」  
「装訂・料紙について」「表紙の文様について」  
「江戸の出版文化」「幕松明治の出版文化」  
「国文学研究資料館和古書目録データベースの作成」  
「日本語の歴史的典籍のデータベースについて」  
「国立国会図書館における和古書書誌データ作成」  
「国立国会図書館における古典籍資料の電子化」  
「図書館における資料保存」

#### (2) 実習タイトル

「国文学研究資料館 和古書目録の作成」  
「四つ目綴じ・簡易帙の作成」

#### (3) 見学場所

展示室、書庫・燻蒸室

#### (4) 研修概要

##### <写本と版本>

古典籍の取扱いおよび書誌学への取組みにあたっては術語(専門用語)を正しく理解し、古典籍関係者の共通認識を持つことが大切である。今回の研修において、『日本国語大辞典』(第二版)(小学館)および『日本古典籍書誌学辞典』(岩波書店、1999)にて記述されている説明を古典籍(もしくはそれに関する単語)の定義とした。また、書誌学は「書物を対象とした文化的な研究」と規定され、一つの資料だけで完結するものではなく、異なる資料を比べる学問である。先入観を持たず、目の前の資料をあるがまま正確に記録することが求められる。

古典籍は写本と刊本に大別される。以前は刊本を含まないとされていたが、1990年代以降は刊本も書誌学の範囲とする動きがあり変化している。写本は原則的にタテに連鎖していくものであり、諸本を系統立てることが第一だ。人の手によって写されていくものであるため、その過程で本来の写本元とは異なる内容で写されてしまう可能性がある。そして、受け継がれていくものは本文であり、外形的な諸要素は用をなさない。著名な書家等の文字を現代に伝える美術品としての価値も兼ね備えている。

一方、刊本では書型や表紙によって本文のジャンルが異なり、外形的な諸要素が最も重要である。技術の発展によるところが大きく、文化史的・文化資源としての価値を持つ。未整理資料を整理する場合は、写本と刊本を分けてから刊本をサイズ毎に分け、次に表紙で分けて整理すると良い。漢籍との区別として、一般的に中国書は表紙が薄く、紙が弱く、綴じ穴は4つであるものが多い。加えて朝鮮本はサイズが大きく、型押ししてある黄色い表紙で綴じ穴が5つであるものが多い。

しかしながら、写本・版本共に書誌を取る上では装訂と料紙が基本的な事項であることに変わりはない。世界の書物の中での日本の古典籍の大きな特色として、装訂が多様であること、古くからの装訂が

後代まで継承されたことが挙げられる。着色されているものは二酸化炭素燻蒸すると化学反応で色が変わってしまうことがあるので注意が必要だ。

さらに、直接書誌に取られることはほとんどないが表紙に文様が施されているものがあり、柄・色・素材によって資料の内容や文化史的意義を深く理解することができる。

### <江戸時代以降の出版文化>

早くから印刷が進められた大陸と違い、日本では17世紀以降に版本が主流となるが、江戸時代を通して依然として写本も制作され続けた。写本が重視された理由としては、以下のようなものが考えられている（堀川貴司『書誌学入門—古典籍を見る・知る・読む—』勉誠出版、2010年）。

- ア 写本を版本より上位に見る意識があった
- イ 有名人あるいは公家・書家などの筆蹟を尊重する意識があった
- ウ 写本でないと流通できないテキストがあった
- エ 一般への流布を嫌うテキストがあった
- オ 多くの人が自分自身で書物の作成をおこなった

写本に重きを置いた日本古典籍を取り扱うためには、くずし字を読解する必要があるが、相当の修練を要する。書かれている文字が漢字なのか仮名なのかを判別するために変体仮名の字母を覚えることから始めると良い。版本が流行りだした頃に続け字をそのまま版木に彫ったものがあり、写本を再現しようとしたことが窺える。

江戸時代の本屋は出版・流通・小売り・古本屋を全て担っていた。本屋自身が版元となるが、共同で版元となるが多かったため複数名の名前が記載される資料が多い。その中でも主版元となる書肆はあるが、印があっても主版元とは限らず絶対的にどれであるかを確定する方法はない。奥付けの最後に記載されている書肆が主版元である場合が比較的多い程度である。また、ある書物を正式な手続きを経て出版すると、板株となってそれを出版した本屋に権利が生じ、その権利は版木を売り払わない限り原則その本屋に属する。

さらに、本は商品となったため、派手な書袋をつけるようになった。客の目を引くと同時に立ち読み防止の目的がある。庶民も本を買うようになり、家で修理製本等を行う機会が増えた。それにより、表紙と中身が変わってしまっている資料もあるため、

注意が必要である。

18世紀半ばになると、出版の中心が経済発展に伴って上方から江戸へと変化し、全国を市場として書物が流通していく。それまでと比べ物にならないほど、この時代の出版物量は増加し幕末にかけての残存率も高くなっていく。一般的に「和古書」として扱われるのは、多くこの時代の出版物である。近世前期またはそれ以前に原型があり、堅実に増刷を繰り返す素性の正しい「物の本」（宗教書・和漢の学問所・医学書）に対し、江戸出来の書物として、特に大衆向けの洒落本・草双紙・読本・滑稽本・人情本・咄本・狂歌本といった草紙類を、ローカルな出版物という意味の「地本」という名称を以て行われた。この「草紙」の入れ替わりの早さが出版全体の活性化を招いた要因のひとつという（橋口侯之介『和本への招待』第五章、角川学芸出版、2011）。

### <図書館における資料保存>

国立国会図書館では、資料をできるだけ長く「利用できる状態」に保つことを目指し、状態の良い資料には予防を、劣化・破損した資料には手当てを継続的に行う。特に、受入前に必ず殺菌する等有害生物の回避と遮断を徹底している。資料が傷んでしまったから手当てをするよりも予防的な対策に重点を置き、保存方針に基づいて必要な手当てを過不足なく行うことで、資料の利用可能期間を延ばすことができる。

また、図書館で行う資料保存の1つとして、実習で簡易帙の作成を学んだ。1枚の中性紙に切り込みを入れるだけで完成するため、緊急時等の間に合わせとしての利用に適している。





### 3 担当所感

本館では図書担当の担当業務として一般書と和古書がある。通常業務としては一般書を主として扱うため、担当といえども和古書と触れ合う機会はほとんどない。また、そもそも触れ合い方がわからないものも多い。そんな状況を打破すべく、今回の講習会に参加させていただいた。

しかしながら、講習を受けていくにつれ、和古書を取扱えるようになるには経験を積むより他はないとひしひし感じた。本講習会での内容を心の支えに、本館未整理資料の整理に取り組みたい。

また、古典籍の世界は奥深く、未だ不明確な部分が残っていると伺った。たゆまぬ鍛錬をするだけでなく、研究者と共に我々図書館員も率先して資料の研究を進められれば理想的だ。

最後に、本報告で使用している文言・文章は一部講習会の配布資料に記載されているものをそのまま引用している。しかし、私の理解不足や思い違いで誤った記述があるかもしれない。その場合はご指摘いただければ幸いである。

(うえだ なつみ 図書館事務室)

## 2019年度図書館活動報告

### 1 図書委員会

第1回：2019年4月17日(水)

- 確認事項（図書委員会における代理出席の取扱について）
- 審議事項（2018年度図書費決算について、2019年度図書費予算について、「コア資料」としての教育用データベース選定について、専門部会の設置について）
- 報告事項（電子ジャーナルパッケージ、データベースの新規募集の受付状況について、学習用図書の選書協力について、2019年度市民利用の受付結果について、図書館ミニ・ガイダンス（春学期）の実施内容について、図書館全館年間展示計画の予定について、新入生に贈る100冊〔電子版〕におけるスペシャルコンテンツ（岩波書店「現代人の教養」200冊）の提供について、投票方法の説明会の開催について、2019年度図書委員会開催日程について）

第2回：2019年5月15日(水)

- 審議事項（武庫川女子大学附属図書館と関西大学図書館との相互利用に関する覚書の締結について）
- 報告事項（2020年度以降の図書費予算検討専門部会〔第2期〕委員について、総合図書館企画展示「平成—11,070days—」関連企画の実施について、電子ジャーナルパッケージ・データベースの選定にかかわるアンケート投票（途中経過）について）

第3回：2019年6月19日(水)

- 審議事項（2020年度以降の図書費予算のあり方について）
- 報告事項（研究用図書の購入希望について、「新入生に贈る100冊」関連企画の実施について、総合図書館ミニセミナーの実施について）

第4回：2019年7月17日(水)

- 審議事項（2020年度以降の図書費予算のあり方について）
- 報告事項（高額資料の購入について、購入依頼等のオンラインサービスの一時停止について、本学のSDGs推進に伴う図書館の取組みについて、図書館関連規程の改正について、千里山キャンパスにおける図書委員会開催場所について、事務職員に対する図書館への文芸書寄贈のお願いについて）

第5回：2019年7月18日(木)〔持回り開催〕

- 審議事項（図書館関連規程の一部改正について）

第6回：2019年9月25日(水)

- 審議事項（2020年度図書費の予算申請について）

- 報告事項（高額資料の購入について、2019年度図書費予算執行状況（4月～8月）について、学園祭期間中の図書館の休館について、秋学期読書啓発企画「これがノンフィクション」の実施について、図書館ミニ・ガイダンス（秋学期）の実施内容について、2020年度以降の図書費予算検討専門部会〔第2期〕の活動経過について、「KU Library thinks SDGs」について、図書委員会委員の交代について）

第7回：2019年10月16日(水)

- 審議事項（2020年度以降の図書予算のあり方について、American Bar Association 発行誌の電子資料への切替について）
- 報告事項（英語論文投稿講座の実施について、関大生による本の帯プロジェクト「新入生に贈る100冊関連企画」の実施について、第2回本問答「新入生に贈る100冊関連企画」の実施について、KU Library thinks SDGs 関連講演会の実施について、総合図書館書庫狭隘化対策の実行施策「電子資料の優先的提供」に係る作業対象タイトルの廃棄について、蔵書検索システム等の一時停止について、その他）

第8回：2019年11月20日(水)

- 審議事項（2020年度以降の図書費予算検討専門部会〔第2期〕について）
- 報告事項（2019年度私立大学等研究設備整備費等補助金に係る事業の採択について、第3回本問答「新入生に贈る100冊関連企画」の実施について、2019年度関西大学図書館市民利用の募集について）

第9回：2019年12月18日(水)

- 審議事項（2020年度以降の図書予算のあり方について、2020年度図書館開館日程について）
- 報告事項（高額資料の購入について、文献相互利用（ILL）における校費料金立替処理3月分の運用について、2020年度学部一般入試期間中の図書館の利用について）

第10回：2020年1月22日(水)

- 審議事項（2020年度以降の図書費予算のあり方について）
- 報告事項（高額資料の購入について、2019年度図書費予算執行状況（4月～12月）について）

第11回（臨時）：2020年2月14日(金)

- 議題（「2020年度以降の図書費予算のあり方について（第2期検討のまとめ）」について）

第12回：2020年2月19日(水)

- ・審議事項（2020年度以降の図書予算のあり方について、2020年度 図書館開館日程の差替えについて）
- ・報告事項（図書整理での日本十進分類法（NDC）10版の使用について、2020年度図書館ガイダンスについて、図書館ウェブサイト等の一時停止について、「新入生に贈る100冊〔電子版〕」の提供について、2020年度以降の図書予算のあり方について〔「A + B」の資料選定結果について〕

第13回：2020年3月18日(水)

- ・審議事項（2020年度以降の図書予算のあり方について）
- ・報告事項（「知りたい！」が未来をつくる「知りたい！」で世界をひろげる（春学期企画展）の実施について、新入生に贈る100冊2020年度版について、SciFinder-n講習会について、新型コロナウイルスの影響拡大に伴う図書館の対応について、その他）

## 2 2020年度以降の図書費予算検討専門部会〔第2期〕

第1回図書委員会にて審議了承された専門部会の活動実績を以下のとおり報告する。

第1回：2019年5月29日(水)

- ・議題（論点について、2020年度以降の図書費予算検討専門部会〔第2期〕開催日程について、その他）

第2回：2019年6月19日(水)

- ・議題（冊子体雑誌と個別電子ジャーナルのルール適用期間について、コア資料の考え方について、共通・学習用の「冊子体雑誌と個別電子ジャーナル」の扱いについて、その他）

第3回：2019年7月17日(水)

- ・議題（「A + B」と「C + D」の予算配分について、3分館の扱いについて、資料の選択方法について、共通・学習用雑誌について、初年度の新規雑誌購入の方法と継続年度の新規雑誌購入のためのスクラップ&ビルドについて、その他）

第4回：2019年9月18日(水)

- ・議題（2020年度以降の図書費予算検討専門部会〔第2期〕活動経過報告について、関西大学の今後の電子資料のあり方について、その他）

第5回：2019年10月16日(水)

- ・議題（冊子体雑誌・個別電子ジャーナルの選定手順について、その他）

第6回：2019年10月23日(水)

- ・議題（経過報告への対応について、その他）

第7回：2019年11月14日(水)

- ・議題（冊子体雑誌・個別電子ジャーナルの選択方法について、共通資料・教育用雑誌について、分館での資料選定について、その他）

第8回：2019年12月13日(金)

- ・議題（各学部・研究科の主たる意見に対する対応について、その他）

第9回：2020年1月21日(火)

- ・議題（「第2期検討のまとめ」（案）了承後のスケジュール・帳票について、「2020年度以降の図書費予算のあり方について（第2期検討まとめ）」（案）に対する意見について、第8回・第9回図書委員会において挙げた意見の対応について、その他）

第10回：2020年3月12日(水)

- ・議題（学系別予算が余った場合の対応について、3分館における資料選定手順の進捗状況について、「共通資料・教育用雑誌」に追加する資料について、その他）

## 3 図書館自己点検・評価委員会

委員会の開催なし。

## 4 図書館会議

図書委員会開催の前週水曜日に図書館長と図書館職員で「図書館会議」を開催し、次回図書委員会事項等を協議している。

## 5 関西四大学図書館長会議

- ・開催日：2019年9月17日(火)

・場 所：同志社大学（今出川校地 室町キャンパス）寒梅館 6階 大会議室

- ・出席者：関西大学、関西学院大学、立命館大学、同志社大学

### (1) 報告事項

- ① 関西四大学図書館連絡会（2019.7.30開催）について
- ② 関西四大学業務別担当者会（2019.9.17開催）について
- ③ 関西四大学図書館職員研修会（2019.11.27開催）について

### (2) 近況報告・情報交換

- ① 図書館の図書資料費予算
- ② 電子情報の利用および発信
- ③ 利用者サービス
- ④ 課題および将来計画
- ⑤ その他

### (3) 質疑応答

## 6 講演会・セミナー・講習会等の開催

### (1) 館内での講演会①

- ・開催日：2019年7月1日(月)

・演 題：「第一回 本問答：われらの子ども ― 米国における機会格差の拡大」

- 講演者：株式会社 創元社  
小野 紗也香氏
- 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (2) 館内での講演会②
  - 開催日：2019年10月23日(水)
  - 演 題：「世界のノンフィクションがおもしろい！」
  - 講演者：株式会社 作品社 青木 誠也氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (3) 館内での講演会③
  - 開催日：2019年11月6日(水)
  - 演 題：「『ワンピースで世界を変える！』とは？」
  - 講演者：株式会社 創元社  
小野 紗也香氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (4) 館内での講演会④
  - 開催日：2019年11月27日(水)
  - 演 題：「第二回 本問答：サムライブルーの料理人—  
サッカー日本代表専属シェフの戦い」
  - 講演者：株式会社 白水社  
杉本 喜美代氏
  - 場 所：堺キャンパス SA201 教室
- (5) 館内での講演会⑤
  - 開催日：2019年11月28日(水)
  - 演 題：「国連資料の基礎知識と持続可能な開発目標  
(SDGs)」
  - 講演者：国際連合広報センター  
千葉 潔氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (6) 館内での講演会⑥
  - 開催日：2019年12月24日(火)
  - 演 題：「第三回 本問答：100の思考実験—あなたは  
どこまで考えられるか」
  - 講演者：株式会社 紀伊國屋書店  
大井 由紀子氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (7) 館内でのセミナー①
  - 開催日：2019年6月5日(水)
  - 演 題：「新聞データベースで振り返る『平成』」
  - 講演者：元毎日新聞編集局長(本学広報アドバイザー)  
深井 麗雄氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (8) 館内でのセミナー②
  - 開催日：2019年7月2日(火)
  - 演 題：「劇団四季と文学—文学をミュージカルに  
—」
  - 講演者：四季株式会社 営業部  
川辺 太一氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (9) 館内での講習会①
  - 開催日：2019年4月25日(木)
  - 演 題：「学術データベース SciFinder 講習会」
  - 講演者：一般社団法人 化学情報協会  
千葉 康広氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (10) 館内での講習会②
  - 開催日：2019年11月21日(木)
  - 演 題：「ワンランク上の英語論文投稿講座～ Web of  
Science を使って～」
  - 講演者：クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株  
式会社  
石堂 きよみ氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (11) 館内での講習会③
  - 開催日：2019年9月17日(火)
  - 演 題：「大学図書館と著作権法—改正著作権法に関  
連して—」
  - 講演者：株式会社 紀伊國屋書店 LS人材開発部 関西  
LS人材開発課  
田村 俊明氏
  - 場 所：総合図書館ワークショップエリア
- (12) 館内での講習会④
  - 開催日：2019年12月10日(火)
  - 演 題：「電子図書館事情、およびその利活用  
～ LibrariE を中心に～」
  - 講演者：株式会社日本電子図書館サービス 営業推進部  
新元 公寛氏
  - 場 所：総合図書館第一会議室
- (13) 館内での展示①
  - 開催日：2019年4月4日(木)～4月24日(水)
  - 演 題：「特別展示：新元号「令和」の出典である『万  
葉集』」
  - 場 所：総合図書館展示室
- (14) 館内での展示②
  - 開催日：2019年5月12日(日)～6月30日(日)
  - 演 題：「特別展示：新元号「令和」のゆかりの資料  
『万葉集』『文選』『和漢朗詠集』を中心に」
  - 場 所：総合図書館展示室
- (15) 館内での展示③
  - 開催日：2019年5月12日(日)～8月2日(金)
  - 演 題：「平成—11,070days—」
  - 場 所：総合図書館2階開架カウンター前
- (16) 館内での展示④
  - 開催日：2019年9月21日(土)～2020年1月30日(木)
  - 演 題：「KU Library thinks SDGs」企画展「わたし  
たちは世界を変えられる」
  - 場 所：総合図書館2階開架カウンター前

<巡回展示(館外)>

- 2019年10月21日(月)～11月3日(日)  
紀伊國屋書店 天王寺ミオ店
- 2019年11月12日(火)～11月14日(木)  
パシフィコ横浜「総合図書館展」
- 2019年12月9日(月)～12月22日(日)  
紀伊國屋書店 新宿本店
- 2020年1月1日(水)～1月15日(木)  
紀伊國屋書店 福岡本店
- 2020年1月21日(火)～2月3日(日)  
紀伊國屋書店 阪急神戸店

(17) 館内での展示⑤

- 開催日：2019年11月16日(土)～12月6日(金)
- 演 題：SDGs パネル展「パートナーシップでつくる私たちの世界」
- 場 所：総合図書館展示室

(18) 館内での展示⑥

- 開催日：2019年9月28日(土)～10月17日(木)
- 演 題：「すいたクールアースウィーク」コラボレーションブース設置
- 場 所：総合図書館2階開架カウンター前

(19) 館内での展示⑦

- 開催日：2019年10月1日(火)～11月30日(土)
- 演 題：秋学期企画展「これが世界のノンフィクション」
- 場 所：総合図書館2階開架カウンター前

(20) 館内での展示⑧

- 開催日：2019年9月26日(木)～10月15日(火)
- 演 題：特別展「関西大学図書館所蔵の貴重漢籍」
- 場 所：総合図書館展示室

(21) 館内での展示⑨

- 開催日：2020年3月25日(木)～6月26日(金)
- 演 題：「知りたい！」が未来をつくる「知りたい！」で世界をひろげる
- 場 所：総合図書館2階開架カウンター前

(22) 映画上映会

○総合図書館

- 開催日：2019年6月24日(月)
- 場 所：総合図書館ワークショップエリア

○高槻キャンパス図書館

- 開催日：2019年6月26日(木)
- 場 所：高槻キャンパス TB211 教室

○ミューズ大学図書館

- 開催日：2019年6月20日(木)
- 場 所：高槻ミューズキャンパス M402 教室

○堺キャンパス図書館

- 開催日：2019年7月4日(木)
- 場 所：堺キャンパス SA207 教室

(23) 各種ガイダンス

図書館利用者教育の一環として、各種ガイダンスを実施した。

○「入門ガイダンス」

新入生のクラスを対象に図書館の基本的な利用方法と蔵書検索システム KOALA の使い方を説明。

- 実施期間：春学期4月5日(金)～6月29日(土)

○「活用ガイダンス(基本編)」

学習や研究に不可欠な情報検索の基本を解説。

- 実施期間：春学期4月5日(金)～6月29日(土)  
秋学期9月21日(土)～11月30日(土)

○「活用ガイダンス(データベース編)」

特定の専門分野のデータベースについて21種類のガイダンス項目から組み合わせ、カスタマイズすることも可能。

- 実施期間：春学期5月1日(火)～6月30日(土)  
秋学期9月21日(金)～11月30日(金)

○図書館ミニ・ガイダンス

館内ツアーや KOALA の使い方、学術情報の探さがし方、各種データベースの使い方などを少人数の実習形式で学ぶ。

- 実施期間：春学期 5月～7月  
秋学期 10月～12月

7 規程・内規・要領の改正

- (1) 関西大学図書館規程の一部改正
- (2) 関西大学図書委員会規程の一部改正
- (3) 関西大学図書館自己点検・評価委員会規程の一部改正
- (4) 関西大学図書館利用規程の一部改正
- (5) 関西大学図書館図書管理規程の一部改正
- (6) 関西大学学術リポジトリ管理・運用規程の一部改正  
いずれも以下のとおり。

- 改正理由：関西大学例規集の改版及び収録規程の整備のため、用字・用語の統一や規程形式上の整備に伴う改正。各規程の内容に抵触するものではない。

- 改正内容：省略

- 改正施行期日：2019年10月1日

- (7) ニューメディアの受入・整理について(要領)の一部改正

- 改正理由：廃棄に関する取扱いを明記する。軽微な文言の修正及び現状の運営に合わせて修正する。

- 改正箇所：前文、1、2、3、4

- 改正内容：新旧対照表のとおり。

- 改正施行期日：2019年6月12日改正。2019年4月1日から適用。

- (8) 関西大学総合図書館防犯カメラの運用に関する取扱要

領の一部改正

- 改正理由：「防犯カメラ等管理規程」制定に伴い、取扱要領の条文の整備及び文言を修正する。
- 改正箇所：第1条、第2条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条、第9条
- 改正内容：新旧対照表のとおり。
- 改正施行期日：2019年12月11日

(9) 図書館利用に関する取扱要領の一部改正

- 改正理由：利用について実態に合わせて更新する。
- 改正箇所：別表2、別表3
- 改正内容：新旧対照表のとおり。
- 改正施行期日：2020年4月1日

## 関大生による本の帯プロジェクト「オビプロ」の実施について

新谷 大二郎

2019年度、関西大学図書館では、株式会社創元社、紀伊國屋書店株式会社と協働し、「新入生に贈る100冊」の関連企画として、関大生による本の帯プロジェクト「オビプロ」を実施した。その結果を以下のとおり報告する。

### 1 概要

「オビプロ」とは、2020年度「新入生に贈る100冊」のラインナップを飾る本学OG ブローレンヂ智世氏（文学部 心理学専修・2015年度卒業）の著書『ワンピースで世界を変える!』（以下、「本書」という。）の本の帯を後輩である関大生が手掛け、最優秀作品が全国の書店に並ぶというものである。

### 2 参加者

11名

### 3 実施内容

「オビプロ」は、全体を4つのステップに分けて実施された。4つのステップとは、「LECTURE」「WORK」「CONTEST」「COMMENT」である。それぞれのスケジュール、内容については、以下に詳述する。また、この各ステップとは別に、参加者は事前に本学のインフォメーションシステムのアンケート機能を用いて募集した。

#### (1) LECTURE

2019年11月6日(水) 14:40～16:10

於：総合図書館ワークショップ・エリア

「LECTURE」のステップでは、本書の編集者を講師として、参加者に対して、特徴的な事例を示しながら、帯を作成するための事前説明を行った。事前説明の内容は、帯を作成するにあたっての基本的な技術、本書の帯に記載する文章の表現上の注意などであった。また、このステップでは参加者に任意の本の帯を作成してくるよう事前課題を課し、その成果物について、講師から指導、助言を行った。

#### (2) WORK

2019年11月6日(水)～11月17日(日)

「WORK」は「LECTURE」の内容を踏まえて、参加者が自身の作品を作成するために設けた期間である。参加者には、「LECTURE」終了時に本書の原稿を渡し、それを読んだ上



で、作品を提出するように案内した。作品は、本書の発行元である創元社と協議の上、キャッチフレーズと紹介文を含めて200字以内とすることにした。

「LECTURE」の後、ほとんど間を置かずに提出があったり、締め切り間際まで提出されなかったりと、作成期間は参加者によってまちまちであったが、結果的には、無事参加者全員から提出があり、いずれも本プロジェクト関係者の誰もが認める力作揃いであった。

#### (3) CONTEST

2019年11月21日(木)～12月1日(日)

「CONTEST」は「WORK」で参加者から提出してもらった作品を、関係者および学内外の一般の方に評価・投票してもらうために設けた期間である。

投票については、関西大学図書館ウェブサイト内に「オビプロアンケート特設ページ」として案内ページを設け、そこから本学インフォメーションシステムを利用した投票フォーム（ここに各作品を掲示し、作品を見ながら投票できるようにした。）に案内、学内と学外とを分けて投票を受け付ける形とした。

投票総数は593件、うち学内者からの投票は108件、学外者からの投票は485件という結果であった。余談ではあるが、「本プロジェクトを何で知ったか?」というアンケート項目に対して、最も回答が多かったのが「教員・友人等からの案内」であり、各ウェブ媒体によるという回答とほぼ同数の結果であった。口コミの効果は侮れないということであろう。

#### (4) COMMENT

2019年12月11日(水) 14:40～16:10

於：関西大学総合図書館ワークショップ・エリア

「COMMENT」は「CONTEST」の結果を踏まえて、参加者に提出作品に対する講評、結果発表を行う場として設定した。参加者に贈る賞としては、実際に本書の帯となる最優秀賞だけでなく、関西大学学長賞、紀伊國屋書店賞、投票の結果により決める一般投票第1位を用意した。各受賞者には、賞状と副賞の記念品を授与し、その他の参加者にも記念品を贈呈した。各受賞者については、以下のとおりである。

最優秀賞 大西珠生さん（総合情報学部3年次生）

関西大学学長賞 畑明日香さん（社会学部4年次生）

紀伊國屋書店賞 久保まなさん（総合情報学部2年次生）

一般投票第1位 河村有紗さん（社会安全学部2年次生）

「COMMENT」では、「LECTURE」に引き続き本書の編集者から各作品への個別講評およびプロジェクト全体に関する講評を行い、それとは別に各賞のプレゼンターによる講評も行った。最優秀賞のプレゼンターは著者であるブローレンヂ智世氏に務めて頂いた。

受賞者については上記のとおりであるが、「COMMENT」後の創元社との協議の結果、最優秀賞以外の作品についても、本書の巻末ページに掲載されることになった。

#### 4 成果

「新入生に贈る100冊」から連なる目的としての読書推進および図書館の利用促進を図ることに関しては、熱心な11名の参加者を得、その力作を通じてCONTESTに関するところだけでも593件もの反響があったことを鑑みると、一定の成果があったものと思われる。図書館においても、実際に出版にまでつながるプロジェクトを通じて、出版社や書店との協働企画に関する知見を深め、今後の企画を検討するにあたっての貴重な機会とすることができたと感じている。また、参加者についても、実際に出版される著書に使用される帯に自身の作品が掲載されるということから高い動機づけで本プロジェクトに参画している様子が見受けられ、得難い機会となったのではと思われる。

#### 5 参加者の作品

それぞれ上段がキャッチフレーズ、下段が紹介文。

##### (1) 河村有紗さん（社会安全学部2年、一般投票第1位）

ワンピースは誰のもの？

僕だって可愛くなりたい！

男性がワンピースを着てはいけないなんて誰が決めたんだ



ろう。ビジネスを学ばないと起業できないなんて誰が決めたんだろう。この本を読み終えた時、「自分らしく」自由に生きて良いんだと気付かされ、押し付けられた枠なんか飛び出してしまおうと勇気が出た。もう隠す必要はない。だってこれが私だから。さあ、好きな服を着て、みんなで世界を変えよう。

##### (2) 久保まなさん（総合情報学部3年、紀伊國屋書店賞） 服に性別なんてない。

これは女性が着る服だって誰が決めたのか。着たい服を着たら幸福な人生が始まる。お気に入りの服を着てお出かけする日は朝から気持ちが晴れやか。そんな経験、あなたにもありませんか？「服の常識を変えれば性別の常識も変わる」そのような想いからアパレルブランドを立ち上げた専業主婦の奮闘を描いた本作。彼女は夢の道半ば。この続きをあなたも見たいと思いませんか？

##### (3) 大西珠生さん（総合情報学部3年、最優秀賞）

ワンピース≠女性だけの服

この発想は見事に人を動かした。

市場のスキマに挑んだ1人の女性の起業記録。

「智世ちゃんはどうしてみんなと同じことができないの？」  
そう言われた少女が成長した時、やはりみんなと同じことはしなかった。メンズサイズの可愛いお洋服を作りたい！！  
だけど、お金なし、ノウハウなし、人脈なし。そんな彼女がどのようにして自分のブランドを持ち、なぜ東大安田講堂でファッションショーを開催できるようになったのか？  
がむしゃらに走り続ける起業家の成長記録。もちろん、未だ成長中。

##### (4) 加藤菜乃さん（社会学部3年）

「着たい服を着ればいい」

そう言うための服たちを世に送る



“メンズサイズの可愛いお洋服”をコンセプトに立ち上げたファッションブランド、ブローレンヂ。起業してから1年、2018年6月、東大安田講堂でファッションショーを行いました。つい最近まで専業主婦、お金はない、人脈もない、ノウハウだって勿論ない。それでも信念を持って動けば、なんだってできる。生い立ちから起業、クラウドファンディングで資金集めに奔走する様子まで。いちばん身近な起業エッセイです。

(5) 畑 明日香さん (社会学部4年、関西大学学長賞)

ファッションから性別の壁を取っ払え！

「メンズサイズの可愛いお洋服」で

“常識”を覆す女性の奮闘記

男性的な骨格を持つ人でも着られるレディース服を提供するアパレルブランド・ブローレンヂの立ち上げには、様々な困難が立ちちはだかる。資金調達、工場探し、在庫の山……。それでも乗り越えられるのは、「誰もが着たい服を着られる世の中に！」という熱い思いがあるから。著者の生い立ちからブローレンヂ初のファッションショーまでをつづる、疾風怒濤の起業エッセイ。読後、著者の溢れんばかりのエネルギーが、あなたの心にも届くはず。

(6) 滝口満理奈さん (文学部1年)

誰もが着たい服を“あたり前”に着られる世界に。

～現在奮闘中の女性の起業エッセイ！～

元は喜劇を志し、高校卒業とともに大阪へ。でも、初勤務はブラック会社！仕事に明け暮れる日々は転職しても変わらず…。夫との出会い、結婚、大学進学。しかし院に向けて勉強中、自分は物作りがしたい！と気づき…。心理学の「錯視」を生かし、男性的体型の人でも着こなせる女性服作りを開始！市場調査にニーズ分析、資金調達や縫製工場探しと初めてのことばかり。しかも、最初は全く売れなくて…。数年前まで服作りに全くの素人。起業について何も知らない、お金も人脈もなかったごく普通の専業主婦が自身のブランドを立ち上げ、東大でファッションショーを開くまでのお話。

(7) 小山咲良さん (法学部3年)

誰が着るワンピースも「可愛い！！」

と叫びたくなる本

“あなた、そしてわたしは、

ありのままを纏っていい”

『ワンピースで世界を変える』世界を変えるのはワンピースではなく、“ワンピースを着た自分自身”であり、“ワンピース姿の誰かを見た世界のみんな”です。誰が着るワンピ

ースもとっても可愛い世界。私もそんな世界を生きてみたいです。性別のみならず、自分の人と違う部分や欠点さえも“らしさ”だと知り、素直に受け止め、大切にしたい、表現したいと思うことができる、とっても素敵な本です。

(8) 中井菜以さん (社会学部3年)

「錯視を活用した前例の無い

ファッションブランドを起業」

“着たい服が着られない”そんな悩みを解決し、自分らしく生きる手助けをする「メンズサイズの可愛いお洋服」を考案。資金なし・知識なし・人脈なし。ごく普通の専業主婦が大学で認知心理学を学び、ブランドを立ち上げ、たった1年でファッションショーを開催するまで。資金調達方法からメディアを利用した宣伝活動・ECサイト立ち上げまで全ての情報を掲載。起業してからも苦難の連続「ブランド設立後1ヶ月半、1着も売れませんでした……」

(9) 村森萌果さん (法学部3年)

だから私達は挑戦することをやめない

なりたい自分になるために一步を踏み出すことは、単純でいて難しい。世間の目とか、不安定さとか、もしも失敗したらとか、様々な心配が付きまとう。大学を卒業してすぐに起業活動に取り組み始めたものの、資金もコネも経験もない智世さんは沢山の問題に打ち当たり、日々、解決のために東奔西走。起業してからも問題は山積み。それでも、信念のような熱い目標のために、今日も智世さんは走り続けている。一步を踏み出すことは怖い。だけど、踏み込んだ先が泥沼でも、茨の道でも、過去に歩いてきた道が消えるわけじゃない。自分のその一步が、誰かの助けになるかもしれない。「それは無駄にならんから」智世さんの背中を押したこの言葉に、私も背中を押された気がした。

(10) 伊藤由佳さん (政策創造学部1年)

私はこんな服が着たかった・・・！

源氏物語、インスタントラーメン、3Dプリンター。一見、共通点がなさそうなもの…共通点が分かりますか？これらは世界を変えた日本の発明品です。ここに1秒後なのか100年後なのか分からないけれども、将来加わるもの…それはワンピース！ワンピースで世界を変える!! アパレル店員、キャバ嬢などを経験した後、専業主婦に。25歳で関西大学に入学し、心理学を学ぶ。29歳で大学を卒業後、“メンズサイズの可愛いお洋服”がコンセプトのブランドを立ち上げるが、資金調達や知名度に苦勞する。数々の困難を乗り越えながらも東大でファッションショーを開くことになった波乱万丈の起業エッセイ！

(1) 寺本南椎さん（文学部4年）

「こうあるべき」に従順であるな！

企業の仕方をネット検索、市場調査はSNS!? 経験なし、資金なし、人脈なしの普通の主婦だった著者がブランドを立ち上げ、ファッションショーを開催するまでを描いた、等身大でリアルな起業エッセイ。自分に素直であるために、常識やルールに縛られる必要はなし！ 困難にぶつかっても、乗り越え、突き進む著者の姿に自分も一歩踏み出したくなる！



(しんたに だいじろう 図書館事務室)

## 図書館出版物案内

### 1 冊子目録等

○細江文庫目録……450円 ※

わが国英語学界の重鎮、故細江逸記の旧蔵書目録。

○大阪関係資料目録……650円

昭和35年1月1日現在所蔵の大阪府、市関係の図書・地図・近世文書・堂島文書・芝居番付・明治中期広告の総合目録。

○生田文庫・穎原文庫目録……非売品 ※

在野の万葉集研究家故生田耕一の旧蔵書の一部と、故穎原退蔵旧蔵書の目録。

○吉田文庫目録……1,300円 ※

元トルコ駐在特命全権大使であった故吉田伊三郎の旧蔵書目録。

○岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録……1,500円 ※

江戸時代末期の国学者岩崎美隆の旧蔵書目録と、幕末の漢学者五弓雪窓の旧蔵書目録。

○増田涉文庫目録……6,000円 ※

わが国魯迅研究の第一人者であった元文学部教授故増田涉の旧蔵書目録。魯迅の全著作の初版本他。

○矢口文庫目録……2,700円 ※

本学の元学長で、イギリス経済史学界の重鎮であった故矢口孝次郎の旧蔵書目録。

○極東国際軍事裁判資料目録……非売品 ※

極東国際軍事裁判における検察側及び弁護側提出の書証と関係資料の目録。

○近世文書目録 ※

その一……1,350円、その二……2,000円

大阪周辺の庄屋文書を核に、ほぼ全国各地の近世文書を加えたコレクション。

○大阪文芸資料目録……3,500円 ※

明治以降の、大阪にゆかりのある作家・画家・芸人などの作品や大阪を題材とした作品などの本学所蔵コレクションの目録。

○内藤文庫漢籍古刊古鈔目録……2,500円 ※

内藤湖南・伯健父子旧蔵書の一部善本類の目録。

○内藤文庫リスト No.1～No.5…非売品（ただし、No.1は品切）※

○芝居番付目録……8,000円 ※

大阪を中心とする宝暦から昭和に至る歌舞伎、浄瑠璃等の芝居番付約6,500点の目録。

○撰津国嶋上郡高浜村西田家文書目録……非売品

○河内国丹北郡六反村谷川家文書目録……非売品

○撰津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録……非売品

○和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録……非売品

○和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録……非売品

### 2 CD-ROM版

○内藤文庫目録 KUL-bijou……非売品

### 3 図書館出版図書

○おおさか文藝書画展 図録……2,000円

平成6年9月、図書館創設80周年記念・文学部創設70周年記念として開催した「おおさか文藝書画展—近世から近代へ—」の図録

注 ※印は関西大学図書館ウェブサイトの特典コレクションにて目録を公開している。  
(<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>)

## 2019年度に制定及び改正のあった図書館諸規定

### ニューメディアの受入・整理について（要領）

2019年4月1日改正分

#### 改正の新旧対照表

現 行	改 正	適 用
<p>図書館資料として扱うニューメディアの受入・整理については、以下の要領に従って行う。</p> <p>1 受入</p> <p>(1) 受入担当者 図書館事務室の<u>収書整理チーム</u>が取り扱うものとする。</p> <p>(2) &lt;省略&gt;</p> <p>(3) 利用契約 受入に伴う契約は、<u>受入担当者</u>が行い、契約書を保管する。 但し、契約内容については、<u>レファレンス担当者</u>と相談のうえ決定する。契約終了後、契約書の写しを<u>レファレンス担当者</u>に渡す。</p> <p>(4) &lt;省略&gt;</p> <p>2 整理 現行の目録システムを使って行う。但し、<u>マイクロ資料</u>については、既に定められた整理基準に従って整理を行う。</p> <p>(1) 登録番号の付与 ア 「買取型」のものは、次のように登録番号を付与する。 ア 研究用 <u>A 登号</u> イ 学習用 <u>B 登号</u> イ 「更新型」のものは、購入開始の一枚目に<u>B 登号</u>を付与し、それ以降のものについては、同一の登録番号で本体のみ差し替える。 ウ &lt;省略&gt; エ <u>CD-ROM</u>の検索ソフトとして添付される<u>FD</u>は、登録番号を付与しない。</p> <p>(2) データ作成について 図書資料又は逐次刊行物に準じて作成する。なお、タイトルの後に、資料形態を [ ] 書きで補記する。また、目録システム画面で資料形態コードを立てておく。現行の6番「ニューメディア」に代えて、<u>MT</u>、<u>FD</u>、<u>CD-ROM</u>等についてそれぞれコードを設定する。新たな形態の資料を受け入れることになった場合は、コードを増やす。</p> <p>(3) 請求記号 ア～イ &lt;省略&gt; ウ <u>なお、以前に整理されているニューメディアについては、そのまま凍結する。</u></p> <p>(4) 装備について ア &lt;省略&gt; イ <u>OCR</u> ラベル <u>FD</u>以外はケースに貼付する。 ウ &lt;省略&gt;</p>	<p>図書館資料として扱うニューメディアの受入・整理については、以下の要領に従って行う。 なお、この要領で取り扱うニューメディアとは、<u>CD-ROM</u>、<u>DVD-ROM</u>等を指し、<u>図書館内に設置された利用者検索用パソコンで利用するものをいう。</u></p> <p>1 受入</p> <p>(1) 受入担当者 図書館事務室の<u>収書整理担当</u>が取り扱うものとする。</p> <p>(2) &lt;省略&gt;</p> <p>(3) 利用契約 受入に伴う契約は、<u>収書整理担当</u>が行い、契約書を保管する。</p> <p>(4) &lt;省略&gt;</p> <p>2 整理 現行の目録システムを使って行う。</p> <p>(1) 登録番号の付与 ア 「買取型」のものは、次のように登録番号を付与する。 ア 研究用 <u>21 系</u> イ 学習用 <u>31 系</u> イ 「更新型」のものは、購入開始の一枚目に<u>31 系</u>を付与し、それ以降のものについては、同一の登録番号で本体のみ差し替える。 ウ&lt;省略&gt; エ <u>検索ソフトとして添付されるニューメディアは、登録番号を付与しない。</u></p> <p>(2) データ作成について 図書資料又は逐次刊行物に準じて作成する。なお、タイトルの後に、資料形態を [ ] 書きで補記する。また、目録システム画面で資料形態コードを立てておく。<u>ニューメディアの形態についてそれぞれコードを設定する。新たな形態の資料を受け入れることになった場合は、コードを増やす。</u></p> <p>(3) 請求記号 ア～イ &lt;省略&gt; ウ <u>既に整理されているニューメディアについては、そのままデータを保持し、遡及修正不要とする。</u></p> <p>(4) 装備について ア &lt;省略&gt; イ <u>バーコードラベル</u> ケースに貼付する。 ウ &lt;省略&gt;</p>	<p>文言の追加</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の削除</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p>

現 行	改 正	適 用
<p>エ 付録について</p> <p>(ア) 付録としてFD、CD-ROM等が巻末についているものは、本体OCRラベルのそばに、その形態を示したシールを貼付する（書庫図書）。</p> <p>(イ)～(ウ) &lt;省略&gt;</p> <p>3 配架について</p> <p>整理後、各資料は次の場所に引き渡す。</p> <p>(1) FD、MT、マイクロは、従来通り書庫B2とする。</p> <p>(2) CD-ROMは、<u>当面はレファレンスカウンターとする。</u></p>	<p>エ 付録について</p> <p>(ア) 付録としてニューメディアが巻末についているものは、本体バーコードラベルのそばに、その形態を示したシールを貼付する（書庫図書）。</p> <p>(イ)～(ウ) &lt;省略&gt;</p> <p>3 配架について</p> <p>整理後、各資料は次の場所に引き渡す。</p> <p>(1) <u>総合図書館は、レファレンスカウンターとする。</u></p> <p>(2) <u>分館は、各館カウンターとする。</u></p> <p>4 廃棄について</p> <p>(1) <u>次の事由により利用不可となった場合は、「価値減失」を事由として除籍もしくは抹消処分とすることができる。</u></p> <p>ア 所蔵館内のニューメディア検索用の利用者用パソコン全台において、動作が保証されるOS等のサポートが終了した場合</p> <p>イ 動作が保証されるOS等の搭載されたニューメディア検索用の利用者用パソコンが所蔵館から全台撤去された場合</p> <p>(2) <u>冊子付録のニューメディアについては、前項の取扱から除外するものとする。</u></p> <p>(3) <u>配架済みのニューメディアの廃棄の計画や手続きについては、サービス及びシステム担当が取り扱うものとする。</u></p> <p>附 則</p> <p><u>この要領（改正）は、2019年6月12日から施行し、2019年4月1日から適用する。</u></p>	<p>文言の修正</p> <p>(イ)～(ウ) &lt;省略&gt;</p> <p>項の削除 文言の修正 項の追加</p> <p>条の追加</p> <p>附則の追加</p>

## 関西大学総合図書館防犯カメラの運用に関する取扱要領

2019年12月11日改正分

### 改正の新旧対照表

現 行	改 正	適 用
<p>関西大学総合図書館防犯カメラの運用に関する取扱要領 平成25年6月11日</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この取扱要領は、関西大学総合図書館（以下、「図書館」という。）に設置される防犯カメラの運用について、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(定義)</p> <p>第2条 この取扱要領において防犯カメラとは、録画のために図書館の一定の場所に継続的に設置される撮影装置で、画像表示装置及び録画装置を備えるものをいう。</p> <p>(設置目的)</p> <p>第3条 防犯カメラの設置は図書館内の安全を確保し、犯罪を未然に防止する目的を達成するため、必要な最小限度の場所に設置するものとし、撮影範囲は、この目的に照らして適切になるよう調整することとする。</p> <p>2 防犯カメラの設置に際しては本学の危機管理においてその必要性を検討のうえ、図書館長の許可を得るものとする。</p> <p>(管理責任者及び管理担当者)</p> <p>第4条 <u>図書館は、防犯カメラの適正な設置及び運用を図るため、防犯カメラ管理責任者（以下、「管理責任者」</u></p>	<p>総合図書館防犯カメラの運用に関する取扱要領 平成25年6月11日制定</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この取扱要領は、防犯カメラ等管理規程に基づき、関西大学総合図書館（以下、「図書館」という。）に設置される防犯カメラの運用について、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(定義)</p> <p>第2条 この取扱要領において防犯カメラとは、録画のために図書館の一定の場所に継続的に設置される撮影装置で、画像表示装置及び録画装置を備えるものをいう。また、画像とは、防犯カメラにより録画した映像及び記録媒体のデータをいう。</p> <p>(設置目的)</p> <p>第3条 防犯カメラの設置は図書館内の安全を確保し、犯罪を未然に防止するとともに図書館の資産を保護する目的を達成するため、<u>必要な最小限度の場所に設置するものとし、撮影範囲は、この目的に照らして適切になるよう調整することとする。</u></p> <p>(管理責任者及び管理担当者)</p> <p>第4条 防犯カメラの適正な設置及び運用を図るため、防犯カメラ管理責任者（以下、「管理責任者」という。）を</p>	<p>文言の修正 文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p> <p>項の削除</p> <p>文言の修正</p>



図書館利用に関する取扱要領

2020年4月1日改正分

改正の新旧対照表

現 行						改 正						適 用
制定 平成2年4月1日						制定 平成2年4月1日						附則の追加
(趣 旨) 第1条～第14条<省略>						(趣 旨) 第1条～第14条<省略>						
別表2(第3条関係) <省略>						別表2(第3条関係) <省略>						文言の修正
② 学部の授業・試験を行っていない期間						② 学部の授業・試験を行っていない期間						
	書庫・1階・2階	ラーニング・コモンズ	3階一般閲覧室	3階グループ閲覧室 多目的閲覧室	北側入口		書庫・1階・2階	ラーニング・コモンズ	3階一般閲覧室	3階グループ閲覧室 多目的閲覧室	北側入口	文言の追加
月～金曜日	10:00～20:00	10:00～17:00	閉室	10:30～19:30	10:00～18:00	月～金曜日	10:00～20:00	10:00～17:00	閉室	10:30～19:30	10:00～18:00	
土曜日	10:00～18:00	10:00～20:00	閉室	10:30～17:30	10:00～18:00	土曜日	10:00～18:00	10:00～17:00	閉室	10:30～17:30	10:00～18:00	文言の追加
<省略>						<省略>						
別表3						別表3						
<省略>						<省略>						
2	学部履修生等	科目等履修生(学部)、委託生(学部)、聴講生(学部)			<省略>	2	学部履修生等	科目等履修生(学部)、委託生(学部)、聴講生(学部)、履修証明プログラム			<省略>	
<省略>						<省略>						
19	優待				<省略>	19	優待	専任教職員定年退職者、高 額寄附者			<省略>	
<省略>						<省略>						
<省略>						<省略>						
注6「特別1」とは、本学受入機関の長または専任教育職員(名誉教授を除く)から申請され、入庫を含めて利用を許可された者を示す。						注6「特別1」とは、本学受入機関の長または専任教育職員(名誉教授を除く)から申請され、入庫を含めて利用を許可された者を示す。						文言の削除
<省略> <ul style="list-style-type: none"> <li>本学大学院博士課程後期課程に修業年限以上在学し、かつ、当該研究科所定の単位を修得して退学した者で、再入学をせず、学位請求が可能な者</li> </ul> <省略>						<省略>						

## 『関西大学図書館フォーラム』投稿要項

制定 平成 8 年 3 月 31 日

概要を次のように定める。

### (1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・寄稿記事いずれの場合も、本学の教育職員並びに本学図書館所属の職員を執筆者とする。

### (2) 原稿の内容

次のいずれかで、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

### (3) 掲載

予定の紙幅を超える寄稿があったときは、掲載する号を図書館長が決定する。

### (4) 謝礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼を贈呈する。ただし、抜刷は提供しない。

### (5) 投稿先

関西大学図書館事務室（TEL 06-6368-1157）

電子メール（lib-ent@ml.kandai.jp）

### (6) 執筆要領

- ア 本誌 1 ページにつき 2,070 字相当とする。
- イ 原稿は横書き、電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体での提出を原則とし、手書き原稿も可とする。
- ウ 電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体で提出する場合は、ブレインテキスト（txt）形式もしくはワープロ形式を原則とする。
- エ 本文中に図・表または写真を掲載する場合は、その相当分の字数を割愛する。
- オ 原稿は次の順に記載する。
  - ① 標題、② 執筆者名、③ 本文、④ 注記、⑤ 引用文献、⑥ 参考文献、⑦ 執筆者名の読みがな・職名
- カ 原稿の表記は、次に従うものとする。

- ① 漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある場合は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」「、」を用いる。
- ② 数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。

### ③ 引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。

#### a. 雑誌論文の場合

筆者名“論文標題”『雑誌名』巻（号）、年月、ページ

#### b. 図書の中の一部引用の場合

著者名“論文標題”『書名』（図書の著編者名）出版地、出版者、出版年、ページ

#### c. 図書の場合

著者名『書名』出版地、出版者、出版年

#### d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す（印刷では、イタリック体活字になる）。

[例] Downs, Robert B. “How to start a library school.” *ALA Bulletin* 52(6), 1995. 6, pp.32-48.

#### e. インターネット上の文献

著者名“文献標題”[参照年月日]（URL）

[例] 永沼博道 “21 世紀の大学図書館に向けて—伝統と現代化の相克” [参照 2003. 1. 20]

（URL [http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib\\_pub/forum/2002\\_vol7/2002\\_01.pdf](http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib_pub/forum/2002_vol7/2002_01.pdf)）

キ 図・表は、図 1、図 2、表 1、表 2、fig. 1 のように記す。図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するとき、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図 1、図 2、表 1、表 2 のように番号を鉛筆書きのこと。

ク 校正は、初校を執筆者に依頼し、再校以降は図書館が行うことを原則にするが、必要のある場合は、再校以降についても執筆者の協力を得るものとする。

### (7) 掲載された著作物の著作権

掲載された著作物の著作者は、当該著作物に関する複製及び公衆送信を関西大学図書館に対して許諾したものとみなす。関西大学図書館が複製及び公衆送信を第三者に委託した場合も同様とする。

以上

2019 年 2 月 13 日改正（この要項（改正）は、2020 年刊行予定の第 25 号から適用する。）



## 編集後記

今年度も図書館フォーラム第25号を無事刊行することができました。コロナウイルスという未曾有の出来事の中、ご多忙にも関わらずご寄稿いただいた方ならびに関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

今号では、2019年度に文部科学省から助成金をいただきました『関東庁警務局資料』（マイクロフィルム版）のご紹介、執筆者のご遺族からご寄贈いただきました『花冠』のご紹介といった記事を掲載しております。また、出版社および書店との共同企画である「オビプロ」というイベントを実施し、実際に本学学生が作成した本の帯を書店に並べるまでの一部始終もご報告しております。

このように1年間の全体を振り返りますと図書館とは正に知的社交場であると思われまます。収集・保管という従来行ってきた守りの役割のみならず、自らもイベント等によって発信していく攻めの姿勢により、今後も図書館を通じて関係者の方々や資料との交流をもたらす存在であり続けたいものです。

最後まで図書館フォーラム第25号をご覧いただき、誠にありがとうございました。引き続き、関西大学図書館をよろしくお願い申し上げます。

(上田)

---

図書館フォーラム編集担当

上田 夏実・鶴飼 香織・徳永 賢太

---

---

## 関西大学 図書館フォーラム 第25号 (2020)

2020年7月31日発行

編集・発行 関西大学図書館  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL 06-6368-1157  
<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>

制作 (株)遊文舎  
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31  
TEL 06-6304-9325

---

---



Kansai University  
Library Forum